

商 工 労 政 課

○ 商工関係

1 商店街振興対策

交通環境の変化や大型店の郊外への出店などを要因として、中心市街地商店街等の集客力・求心力が弱体化している。地域のコミュニティの担い手としての役割が期待されている中心市街地商店街等の活性化を図るために、商店街空店舗対策事業、商店街活性化対策事業、商店街PR支援事業を実施した。

(1) 商店街空店舗対策事業

地域のコミュニティの場として中心的役割が期待されている中心市街地商店街の集客力及び機能回復の促進を目的として、空店舗の解消を図るため、伊勢まちづくり株式会社が実施する「空店舗活用モデル事業」「テナントミックス事業」「テナント確保支援事業」「チャレンジショップ事業」に補助金として5,219千円を交付した。これらの事業は、新規創業者の店舗開設及び経営の一助となっており、商店街における賑わいの創出にも繋がっている。

ア 伊勢まちづくり株式会社が実施した補助事業の実績

(ア) 空店舗活用モデル事業

	交付団体	事業内容(店舗名称)	補助金額
継続	伊勢河崎本通り活性化会議	コワーキングスペースとしての賑わい創出(和)	円 1,371,662
	伊勢銀座新道商店街	若い担い手育成拠点整備(フードラボ)	1,319,302
計		(2件)	2,690,964

(イ) テナントミックス事業

	交付団体	事業内容(店舗名称)	補助金額
新規	伊勢河崎本通り活性化会議	体験工房「ワックワークス」	円 1,009,677

(ウ) テナント確保支援事業

	交付団体	店名	業種	補助金額
新規	伊勢銀座新道商店街	cozaru	飲食業	円 150,000
	伊勢銀座新道商店街	AHL	飲食業	90,000
	伊勢市駅前商店街	兼言	飲食業	324,000
	伊勢河崎本通り活性化会議	街家オプ・アート	家具・インテリア 小売業	360,000
計		(4件)		924,000

(エ) チャレンジショップ事業

	交付団体	店名	業種	補助金額
継続	伊勢高柳商店街	サマディ	整体院	円 120,000

(2) 商店街活性化対策事業

中心市街地の活性化を図るため、消費者に魅力ある商店街づくりを行う商店街等に対する補助事業を実施する伊勢商工会議所に、補助金として583千円を交付した。

ア 伊勢商工会議所が実施した「商業まちづくり補助金事業」の実績

交付団体	事業名	補助金額
外宮参道発展会	「外宮参道伊勢和紙行灯 -八朔俳句で彩る幻影のゆらめき」事業	円 110,000
伊勢銀座新道商店街	「第16回伊勢の夜祭」事業	350,000
伊勢市商店街連合会	「商店街魅力創出のための調査」事業	123,000
計 (3件)		583,000

(3) 商店街PR支援事業

商店街の空店舗の解消や活性化を図るため、伊勢まちづくり株式会社が行う商店街等の広報に対して補助金を交付した。

交付団体	事業名	補助金額
伊勢まちづくり株式会社	商店街空店舗・イベント広報事業	円 1,188,000

2 商業活性化推進事業

伊勢市内の商業振興を図るため、地域住民や観光客のニーズに応えた商業環境の整備やにぎわいの創出に新たに取り組む商業団体等に対して事業費の一部を補助する商業魅力アップ支援事業補助金を実施した。

交付団体	事業名	補助金額
伊勢高柳商店街振興組合	商店街の歴史を生かしたプロジェクションマッピング作成事業	円 1,000,000
伊勢市駅前商店街振興組合	伊勢市駅前商店街活性化構想策定事業	666,000
伊勢河崎本通り活性化会議	インバウンド(外国人観光客)に対応した伊勢河崎情報発信事業	1,000,000
伊勢の企画造成の会	伊勢路のおもひで	299,000
外宮前名物・御饌井の会	日本語・英語併記版 御饌井マップ制作事業	194,000
計 (5件)		3,159,000

3 地域産品販売促進事業

(1) 物産展等

伊勢の食材や特産品など地域資源の販路拡大や全国における認知度の向上、伊勢の魅力を全国へ発信することを目的に、伊勢市産業振興会や伊勢市観光協会等の関係団体と連携し、首都圏や大都市圏において、物産展や食材のPRを行った。

ア 首都圏及び大都市圏での物産展等の状況

開催日	内容	場所
28. 5. 19~28. 5. 21	伊勢志摩サミット開催記念「お伊勢さんフェア」物産展開催	東急百貨店日吉店 (神奈川県横浜市)
28. 8. 19	伝統工芸品 PR イベント「ええなあ伊勢のもん VOL. 2」	三重テラス (東京都中央区)
28. 10. 20~28. 10. 26	特産品・観光 PR イベント「お伊勢さんうまいもんフェア」	東急百貨店日吉店 (神奈川県横浜市)

28. 11. 4～28. 11. 6	特産品・観光PRイベント「第4回たまプラーザテラス伊勢市観光PRイベント」開催	たまプラーザテラス（神奈川県横浜市）
28. 12. 10～28. 12. 11	「伊勢・鳥羽・志摩・南伊勢うまいもん列車」にて特産品を販売	大阪上本町駅構内（大阪府大阪市）
29. 2. 18～29. 2. 19	お伊勢さん菓子まつり	金山総合駅（愛知県名古屋市）

イ その他物産展等の状況

開催日	内 容	場 所
28. 8. 11～28. 8. 14	バレーボールクラブカップ男子選手権大会 物産展	三重県営サンアリーナ
28. 12. 3～28. 12. 4	「野口みずき杯2016中日三重お伊勢さんマラソン」伊勢志摩物産展	三重県営サンアリーナ周辺
29. 1. 22	シニアサッカー大会 物産展	フットボールビレッジ
29. 2. 19	「第10回美し国三重市町対抗駅伝」物産展	三重交通G スポーツの杜 伊勢（三重県営総合競技場）

(2) 伊勢市商談会等出展支援事業補助金

伊勢市内の中小企業者及び中小企業団体等の販路拡大及び新規需要開拓を促進するため、国内外における商談会や見本市等に出展する中小企業者に対して補助金を交付した。

区 分	補 助 件 数	補 助 金 額
国内の商談会等	9 件	775,600 円
海外の商談会等	1 件	200,000 円
計	10 件	975,600 円

4 中小企業振興対策事業

伊勢中小企業相談所（伊勢商工会議所内）及び小俣町商工会が実施する中小企業の経営改善及び経営強化を支援するための経営指導事業等に要する経費に対して補助金を交付し、中小企業の振興に寄与した。

また、中小企業等への相談対応や、経営指導の充実を図るため、伊勢中小企業相談所及び小俣町商工会が行う専門家派遣に係る経費に対して補助金を交付し、中小企業等が抱えている課題解決を支援した。

(1) 経営改善普及事業補助金

助 成 団 体	事 業 内 容	補 助 金 額
伊勢中小企業相談所	中小企業等に対する ・ 講習会、セミナーの開催 ・ 融資相談、経営指導、金融機関の斡旋 など	10,000,000 円
小俣町商工会	中小企業等に対する ・ 経営指導、講習会の開催 ・ 決算、年末調整、消費税申告指導 など	7,770,000 円
計	(2 件)	17,770,000 円

(2) 専門家派遣事業補助金

助成団体	事業内容	補助金額
伊勢中小企業相談所	中小企業等への相談対応や経営指導の充実を図るため、中小企業等が抱えている課題に対し専門的・実践的に指導、助言を行う専門家を派遣する。	円 764,000
小俣町商工会		421,000
計 (2件)		1,185,000

5 融資対策事業

中小企業・小規模事業者の経営安定化に資するため、対象となる融資を受けた中小企業等に対して、その融資に係る保証料、利子の一部の補給補助を行った。

(1) 小規模事業資金保証料補給補助金

伊勢商工会議所または平成19年以降に小俣町商工会の斡旋により、三重県信用保証協会の保証を得て小規模事業資金または、小規模借換資金の融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じて融資に係る保証料の補給補助を行い、小規模事業者の経営合理化を促進した。

件数	保証料補給補助金額	取扱金融機関名
195件	5,969,648円	百五銀行、第三銀行、三重信用金庫、中京銀行ほか

(2) 中小企業信用保険法の規定による特定中小企業者の認定

中小企業者が三重県信用保証協会の信用保証を受けられる融資金額は、中小企業信用保険法によりその上限が定められているが、同法第2条第5項により、取引先の倒産や事業活動の制限、災害等などにより経営の安定に支障を生じている中小企業者は、市町村等の認定を受ければ保証限度額の別枠化による新たな融資が受けられることから、申請のあった中小企業者に対し審査を実施し該当する中小企業者を「特定中小企業者」として認定して資金調達の円滑化を図った。

認定要件	認定件数
第5号：業況の悪化している業種（全国的）	35件

(3) 中小企業経営力強化資金利子補給補助金

新規創業及び異分野の中小企業と連携した新事業分野の開拓や第二創業などを行う中小企業・小規模企業が、日本政策金融公庫（国民生活事業）の中小企業経営力強化資金の融資を受けた場合にその融資にかかる利子の一部の補給補助を行い、中小企業・小規模企業の事業発展を促し、地域経済の活性化を図った。

件数	利子補給補助金額
14件	935,845円

6 住宅・店舗リフォーム等促進事業補助金

市内住宅関連産業の振興を促進し、地域経済の活性化を図るため、市民や事業者のリフォーム又は増改築、店舗の新築に対する意欲を促すべく、住宅又は店舗のリフォーム等を行う者に対し、補助金を交付した。

区分	補助件数	補助金額
店舗	5件	円 842,000
住宅・店舗併用	2	311,000
住宅	122	10,847,000
計	129	12,000,000

7 全国菓子大博覧会・三重開催支援事業

平成 29 年に「第 27 回全国菓子大博覧会・三重」が伊勢市において開催されることから、菓子産業等の振興発展や他産業への波及効果に加え、地域経済の活性化や交流人口の拡大などが期待できるため、第 27 回全国菓子大博覧会・三重実行委員会に対し負担金を支出した。また、商工労政課から 4 名（内嘱託職員 2 名）が同実行委員会事務局に駐在し、博覧会に向けた準備や広報などの事務局の運営事務を行った。また、物産展や観光イベントで博覧会の P R を行った。

(1) 開催支援負担金 15,000,000 円

(2) お菓子パンフレット「伊勢おかしめぐり」の作成

より多くの人に伊勢市のお菓子を知ってもらう機会を増やし、広く市内のお菓子の魅力を発信するため、伊勢市内のお菓子のパンフレットを作成し、市内関係施設や市外イベント等で配布を行った。また、パンフレットの英語版をホームページに掲載した。

- ・作成部数 50,000 枚（A 5 34 ページ）

- ・掲載店舗数 52 事業所

(3) スタンプラリー準備

来年度、第 27 回全国菓子大博覧会・三重の開催時期に合わせて実施する市内菓子店舗をめぐるスタンプラリーの準備を行った。

- ・開催時期 平成 29 年 4 月 21 日～6 月 20 日

- ・スタンプラリー台紙部数 30,000 枚

- ・開催場所 「伊勢おかしめぐり」に掲載されている 50 事業所の店舗及び菓子博会場

(4) 第 27 回全国菓子大博覧会・三重（以下、「菓子博」）の周知に向けた取組

広報いせや雑誌、ホームページ、テレビでの周知のほか、菓子博開催に向け各種取組みを行った。

- ・物産展・イベント等

博覧会開催を周知するため、首都圏等における物産展やイベントで菓子博の P R を行った。

開催日	内容	場所
28. 9. 21	伊勢志摩のPRイベントにおいて菓子博をPRする	東京国際展示場（東京都江東区）
29. 1. 22	第22回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会「駅伝ふるさとひろば」において菓子博をPRする	平和大通り緑地帯（広島県広島市）
29. 2. 7	「三重県観光マッチング交流会」において伊勢のお菓子と博覧会をPRする	三重テラス（東京都中央区）
29. 2. 18～29. 2. 19	伊勢のお菓子と博覧会をPRする「お伊勢さん菓子まつり」開催	金山総合駅連絡通路橋（愛知県名古屋市）
29. 3. 18～29. 3. 19	「旅まつり名古屋2017」において伊勢志摩の観光PRや博覧会をPRする	久屋大通公園（愛知県名古屋市）

※上記のほか、地域産品販売促進事業における物産展でも博覧会の P R を行った。

- ・菓子博 P R 用の懸垂幕・のぼりの掲揚や看板・名刺の作成

- ・ 公用車へPR用マグネットシートの貼付
- ・ 職員共済会での入場券の斡旋及び販売（職員向け）、グッズの販売等

8 クレジットカード決済機器導入促進事業

平成28年5月に伊勢志摩サミットが開催されたことに伴い、国内外からの観光客の来勢が見込まれる。最近の動向として、観光客、特に若年層や外国人観光客は現金を持たず、クレジットカード決済で行うことが多いが、観光地、商業集積地でクレジットカード決済ができる店舗が少ないことから、来勢する観光客の利便性の向上と伊勢の商業環境の近代化を図るため、機器を導入する者に対し整備費用の補助を行った。

件数	補助金額
8件	264,164円

9 皇學館大学地域連携拠点整備事業

市、伊勢商工会議所、皇學館大学が連携し、中心市街地及び商店街の賑わい、地域の活性化を図るため、宇治山田駅ショッピングセンター内の空テナントを借り上げ、皇學館大学生の地域における活動拠点を整備した。市は拠点の管理・運営を行う伊勢商工会議所に、拠点整備に係る費用の一部を補助した。拠点では、皇學館大学の授業、ゼミやサークルでの活動場所や市、伊勢商工会議所、皇學館大学が連携事業を検討する会議場所として活用するほか、皇學館大学生による「伊勢まちづくり新聞」への記事掲載の際の打ち合わせや編集場所、地域交流イベントを実施する場所として活用した。また、会議やイベントなどがない平日には誰もが利用できる休憩所として開放した。

助成団体	補助金額
伊勢商工会議所	1,770,000円

10 タウンマネージャー設置支援事業

伊勢市中心市街地活性化基本計画に掲げた事業を推進するため、まちづくり等に関する専門的知見や経験を有し、関係者との連携・調整を図りながら中心市街地の活性化に資する業務に取り組むことのできるタウンマネージャーの設置に対し補助金を交付した。

助成団体	事業内容	補助金額
伊勢商工会議所	JT 用地活用事業、空き地・空きビル活用調査事業、伊勢市駅前商店街活性化構想策定事業、伊勢マーケット調査事業、新道商店街計画推進事業、伊勢和紙行灯活用調査事業の推進	円 1,440,000

11 ものづくり推進事業

(1) 新産業創出支援事業補助金

「新たな製品」を創り出せる優れた技術を持つ中小製造業者又は中小製造業者の団体の育成を図るため、中小製造業者等が行う新製品・新技術の研究開発に対し、補助金を交付して企業力の強化を図った。

補助金交付事業者及び交付額の決定等にあたっては、大学教授をはじめとする学識経験者等から構成される審査委員会で、事業内容及び実績等をもとに審査を行った。

事業者名	交付額(概算払額)	事業内容
(有)若松屋	635,000円	魚肉ねり製品技術を活用した魚ぎょうざの研究開発(事業期限: 30. 1. 31)

(2) 伝統工芸品等再生支援事業補助金

伝統工芸品産業の振興を図るため、製造業者等が行う後継者育成等の伝統工芸品産業の再生及び発展につながる事業に要する経費に対し、補助金を交付した。

事業者名	交付額	事業内容
(株)宮忠	299,000円	英語版自社ホームページ製作事業

(3) 創業・再挑戦アシスト資金保証料補給補助金

創業・起業者の資金運営円滑化を図るため、三重県の融資制度である創業・再挑戦アシスト資金の融資を受けた事業者に対して、保証料の補給補助を行った。

件数	保証料補給補助金額
53件	915,237円

(4) (株)三重TLOへの加入及び関係機関との連携

企業と大学との交流支援に取り組み、かつ、県内の大学等の研究成果や新技術を産業界に移転する活動を積極的に推進するなど、産学官連携の拠点と位置づけられている(株)三重TLOの特別会員として継続加入し、地元企業の学術機関への技術相談や、大学等が持っている技術の収集などが容易にできる環境を整えた。

また、国・県・大学や高等専門学校をはじめとする支援機関・研究機関などと連携し、中小企業支援のメニューや試験設備の情報を収集するとともに、支援体制の強化を図った。

(5) 創業支援事業計画事業補助金

地域経済の活性化と雇用の場の創出に資するため、伊勢市創業支援事業計画に基づき、創業支援事業者が実施する事業の経費を一部補助し、創業環境を整え創業支援体制の強化を図った。

対象者：伊勢市創業支援事業計画に位置付けられた創業支援事業者

交付団体	事業内容	補助金額
伊勢商工会議所	特定創業支援事業に基づく、創業希望者及び第二創業希望者を対象にした「創業セミナー」「創業スクール」の実施	円 626,000

12 産業支援センター管理運営事業

(1) 伊勢市産業支援センター

平成24年度から、専門性を向上させ効率的・効果的に業務を進めるため指定管理者制度を導入した。指定管理者は、施設の管理運営と企業訪問による課題の聴き取り及び解決、起業家育成、各種講習会の開催などに取り組んだ。

- ・指定管理者 伊勢商工会議所
- ・指定管理期間 平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年間)
- ・指定管理料 総額225,894,063円(平成28年度分46,028,571円)

ア 起業支援

業活動を支援する「企業支援員」3名を配置した。また、職員も企業訪問を行い、市内企業の状況把握、他団体等の企業支援メニューの紹介等を行った。

- ・ 企業訪問件数：1,130件（358社）
- ・ 課題件数：147件（前年度継続 59件、新規 88件）
- ・ 課題解決件数：83件
- ・ 繰越：0件
- ・ 解決不能：7件

(イ) 専門家派遣支援事業

企業からの課題・問題に関する相談に対して、商工会議所・商工会が行う専門家派遣制度や中部経済産業局が行う専門家派遣事業（ミラサポ）、三重県産業支援センターの専門家派遣制度への取り次ぎを行った。

- ・ 取次件数 2事業所（2回）

ウ 販売力向上、販路拡大支援（企業力の強化）

(ア) センターWebによる企業情報紹介（伊勢市ものづくり企業データベース）

新たな外注・発注先や協力工場探し、工場検索、企業連携先の探索などの利用のため伊勢市内に立地する製造業関連の事業所・企業情報を掲載した。

- ・ 今年度企業掲載件数 1件
- ・ 累計企業掲載件数 34件

(イ) センターホームページ情報発信力強化

伊勢市が行っている製造業関連の事業所を対象とした補助金の情報や、各種研修など企業支援情報のほか、国・県などの支援事業を掲載した。

- ・ 23,321セッション

(ウ) 大都市圏等展示会への視察・出展支援

①展示会出展

伊勢市産業支援センターとして、「しんきんビジネスフェア2016」の展示会にブースを出展し、市内企業とともに商品PRに努めた。

- ・ 開催日 平成28年9月21日（水）
- ・ 開催場所 ポートメッセなごや（名古屋国際会議場）第3展示館
- ・ 参加企業 8社 12名（（株）貫じん堂、（株）糺屋、（有）アサヒ木工、
（有）にしおり、（株）利八屋（有）FORSELLER、
（株）ゴーリキアイランド、日本モッキ）

②展示会見学会

市内企業の今後の事業展開のため、展示会出展を計画されている事業所、及び新たな企業との出会いを求めている事業所等と共に、日本最大級異業種交流展示会「メッセナゴヤ2016」の視察を行った。

- ・「メッセナゴヤ 2016」
- ・開催日 平成 28 年 10 月 27 日（木）
- ・開催場所 ポートメッセなごや（名古屋国際会議場）
- ・参加者 14 名

エ 人材育成支援（企業力の強化）

（ア）ものづくり人材育成セミナー等の開催

開催日	講座名・タイトル等	講師	受講者数
28. 4. 8	第1回みえ地域コミュニティ応援ファンド助成金説明会（注2）	（公財）三重県産業支援センター 経営支援課 経営向上班 課長補佐 石崎 淳 氏	19 人
28. 5. 10	第1回ファンド助成金ブラッシュアップ個別相談会（注2）	（公財）三重県産業支援センター 経営支援課 経営向上班 課長補佐 石崎 淳 氏 三重県よろず支援拠点 チーフコーディネーター 野垣内 斉 氏	11 人
28. 6. 29	キャリア形成促進補助金説明会（注1）	三重労働局職業安定部職業対策課 地方雇用開発担当官 高原 孝祐 氏	5 人
28. 7. 21	特別講演会「高等専門学校役割と地域貢献」～産学連携の事例を交えて～（注2）	（独）国立高等専門学校機構理事 鈴鹿工業高等専門学校長 鳥羽商船高等専門学校長 大阪大学名誉教授 新田 保次 氏	99 人
28. 7. 26	海外取引支援【共催】（注2）	株式会社アースリンク 貿易アドバイザー 川村 久美子 氏	28 人
28. 9. 14	事業承継セミナー「事業承継セルフチェック」～自己診断からわかる その必要度～ ①セミナー（注1）	山田ビジネスコンサルティング(株) マネージャー 渡辺 智成 氏 マネージャー 黒田 秀季 氏	8 人
28. 9. 14	事業承継セミナー「事業承継セルフチェック」～自己診断からわかる その必要度～ ②個別相談会（注1）	山田ビジネスコンサルティング(株) マネージャー 渡辺 智成 氏 マネージャー 黒田 秀季 氏 三重県事業引継ぎ支援センター 統括責任者 東山 一雄 氏 統括責任者補佐（弁護士） 後藤 哲史 氏	2 人
28. 9. 27	第2回みえ地域コミュニティ応援ファンド助成金説明会（注1）	（公財）三重県産業支援センター 経営支援課 経営向上班 課長補佐 石崎 淳 氏	6 人
28. 10. 4	第2回ファンド助成金ブラッシュアップ個別相談会（注1）	（公財）三重県産業支援センター 経営支援課 経営向上班 課長補佐 石崎 淳 氏 （公財）三重県産業支援センター 経営支援課 経営向上班 研究員 大西 隼 氏	6 人

28. 11. 30	ものづくりエッセンスセミナー「ゲーム感覚で学ぶ 経営マネジメント」 (注3)	シンフォニアテクノロジー (株) 能力開発センター センター長 小川 博史 氏	6 人
28. 12. 2	雇用管理セミナー【共催】 (注1)	三重県よろず支援拠点 コーディネーター 橋本 香菜子 氏	37 人
29. 1. 26	新春経済講演会「地域経済の展望と中小企業経営」 (注1)	経済ジャーナリスト 田嶋 智太郎 氏	39 人
28. 7. 11 ～ 29. 2. 6 全 11 回	製造管理者育成基礎講座10日間 (注1)、1日間 (注3) (三重県の受託事業)	シンフォニアテクノロジー (株) 能力開発センター センター長 小川 博史 氏	11 社 16 人
29. 3. 1	補助金有効活用セミナー (注1)	(独法) 中小企業基盤整備機構中部本部地域支援ネットコーディネーター 道家 陸明 氏 三重県よろず支援拠点 チーフコーディネーター 野垣内 斉 氏	29 人

開催場所・・・ (注1) 伊勢市産業支援センター

(注2) 伊勢商工会議所

(注3) シンフォニアテクノロジー (株) 五十鈴寮

オ 新分野進出支援 (企業力の強化)

(ア) 他機関の技術開発支援事業補助金獲得支援

市内企業に対して、「創業・第二創業促進補助金」「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」「小規模事業者持続化補助金」など、プランのブラッシュアップや補助金等の申請に関して支援を行った。

事業名	主管	支援企業数
創業・第二創業促進補助金	(株) 電通	社 1
ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金	三重県中小企業団体中央会	2
小規模事業者持続化補助金	日本商工会議所	2

(イ) 開放試験室の利用提供

開放試験室	有償	無償	計
開放試験室	件 0	件 37	件 37
化学分析機器の使用	56	0	56
機械貸出	0	1	1

カ 連携の促進

(ア) 先進地域等広域ネットワーク構築事業

事業を展開していく上で、先進企業、学校、研究機関などの外部機関 (人材) との交流による気づきや連携が重要であるため、それらの機関と交流し連携を深めた。

年月日	場所	交流先・見学先企業
28. 6. 10	鈴鹿市	鈴鹿工業高等専門学校（新田学校長）
29. 2. 10	鳥羽市	鳥羽商船高等専門学校（江崎学科長・教授）

(イ) 農商工連携促進支援事業

(財) 三重県産業支援センターが主催する「みえ地域コミュニティ応援ファンド助成金及び「みえ農商工連携応援ファンド助成金」の説明会を開催した。

開催日	内容	参加者数
28. 4. 8	説明会（前期）	19社／19名
28. 5. 10	ブラッシュアップ相談会（前期）	10社／11名
28. 9. 27	説明会（後期）	5社／6名
28. 10. 4	ブラッシュアップ相談会（後期）	6社／6名

キ 地域伝統技術の活用

(ア) 地域伝統技術講習会・講座等の開催

①伊勢春慶塗教室

伝統工芸品である伊勢春慶の普及啓発の一環として、これまで漆塗りを体験したことのない人を対象に、木製の弁当箱へ伊勢春慶塗を施す一連の流れを体験する講座を開催した。

- ・開催日 平成 28 年 6 月 23 日（木）～8 月 25 日（木）毎週木曜日 全 9 回
- ・開催場所 伊勢市産業支援センター 漆芸室
- ・講師 元伊勢市工芸指導所長 西井 幸平 氏
- ・受講者数 6 人（延べ 51 人）

②漆芸講座

漆芸技術の向上と人材の育成を目的として漆芸講座を開催し、木地呂・伊勢春慶・彩漆・乾漆等の技法習得に取り組んだ（昭和 61 年 5 月から開催）。また、漆芸を学んだ人で、情熱をもって漆芸を続けたい人に制作場所を提供し学んでもらう場として「漆芸自主講座」を、これまで漆芸技術の基礎を身に付け、目的をもって漆芸を学びたい人を対象に、テーマを与え総合的に漆芸を学ぶ総合漆芸講座を開催した。

- ・開催日 各コース 週 1 回
- ・回数 121 回
- ・場所 伊勢市産業支援センター 漆芸室
- ・講師 元神宮司廳造営局神宝装束部長 神原 佑司 氏
元伊勢市工芸指導所長 西井 幸平 氏
- ・受講者数 42 人（延べ 720 人）

③木工講座

市内の木工産業の振興を目的に、優れた木工技術を持つ技術者の育成を図るため、木工の技術・技法の習得や木工道具の仕込みの習得のための指導を行った。講座開催日以外にも自主活動日を設定し、受講生の技術の向上を図った。

- ・開催日 平成 28 年 6 月 11 日（土）～10 月 22 日（土）月 2 回（第 2・4 土曜日）

- ・講座回数 全 10 回
- ・開催場所 伊勢市産業支援センター 作業実習室
- ・講師 家具職人 井坂 益水 氏
- ・受講者数 11 人（延べ 93 人）
- ・自主活動 13 回（延べ 85 人）

④伝統工芸品 P R 事業

若手家具職人や市内の伝統工芸に従事している若手職人を集めて勉強会を開催し、共同での商品作製の情報発信や P R を検討した。

また、春と秋に開催される伊勢楽市出展に向けて展示品の検討を行った。

- ・勉強会の開催 7 回
- ・楽市出展 2 回
- ・開催場所 勉強会：伊勢市産業支援センター、楽市：外宮参道
- ・参加者数 5 名（延べ 42 名）

ク 雇用・就労支援

(ア) 三重大学生の地元企業視察

地元企業の人材確保の足がかりとして、三重大学工学部の学生を対象に地元企業の見学会を開催し、企業概要や独自技術を学生や教職員に P R する場を地元企業に提供し、将来の雇用につながるよう努めた。

①電気電子工学科 3 年生

- ・実施日 平成28年 6 月 21 日（火）
- ・参加者 51 名（学生 45 名、引率 6 名）
- ・視察先 (株) U L J a p a n、(株) トラスト電器伊勢工場

②電気電子工学科 3 年生

- ・実施日 平成28年 7 月 26 日（火）
- ・参加者 31 名（学生 27 名、引率 4 名）
- ・視察先 シンフォニアテクノロジー（株）、（株）鈴工（プレゼンテーションのみ）

③機械工学科 2 年生

- ・実施日 平成 28 年 9 月 12 日（月）～13 日（火）
- ・参加者 89 名（学生 81 名、引率等 8 名）
- ・視察先 1 日目 午後：横浜ゴム（株）、（株）U L J a p a n
2 日目 午前：廣瀬精工（株）、美和ロック（株）
午後：キクカワエンタープライズ（株）

(イ) 皇學館大学生の地元企業視察

皇學館大学の学生（新 4 回生）に対し地元企業（工場）の視察会を開催することで、企業概要や独自技術を学生や教職員に P R する場を地元企業に提供し、将来の雇用に繋がるよ

う努めた。

- ・実施日 平成 29 年 2 月 23 日（木）
- ・参加者 27 名（学生 24 名、引率 3 名）
- ・視察先 （株）林イマニティ、（株）マस्याグループ本社、
（株）三水、（株）三水フーズ

（ウ）南勢地域高等学校教職員の地元製造企業視察

南勢地域高等学校の教職員向けの視察会を実施した。企業概要や独自技術を教職員に P R する場を地元企業に提供し、将来の雇用に繋がるよう努めた。

- ・実施日 平成29年 3 月 7 日（火）
- ・参加者 15名（教職員14名、帯同 1 名）
- ・視察先 光洋メタルテック（株）、（有）若松屋、みえぎょれん販売（株）

（エ）伊勢工業高等学校における地元企業の出前説明会

- ・実施日 平成28年 7 月 7 日（木）
- ・参加者 建築科 38名（3 年生）、78名（1・2 年生）
機械科・電気科 155名（3 年生）、保護者 3 名

・参加企業

①建築科（8 社）

（株）山口工務店、なかむら建設（株）、菱田建材（株）、（株）神路社、吹上鋼材（有）、
（株）堀崎組、船谷建設（株）、（株）前田組

②機械科・電気科（12社）

（株）コスモス・コーポレーション、寿司吟、廣瀬精工（株）、アイティ（株）、
村田機械（株）、（有）ユルギ、（株）カワチョー、伊勢金型工業（株）、
（株）イムテス、三洋自動車（株）、（株）木本自動車、（株）鈴工

ケ 計画・推進体制の確立

（ア）市内製造事業者アンケートの実施

市内中小製造業に向けてアンケートを行うことで現在の経営・技術等の状況を確認し、企業支援員の企業訪問時の課題解決のため、また今後の産業支援施策を考えるために活用する基礎資料とする。今年度も、市内製造事業者に対し現状の企業活動において経営・技術・販路拡大等の課題・問題点等の抽出を目的としたアンケートを実施した。

調査方法	情報提供企業数	回収数	回収率
アンケート（郵送）	424社	132社	31.1%

（イ）企業データベース、企業カルテの整備

企業支援を行っていくうえで必要な情報を職員間で共有するため、企業の所在地・業務内容・取引先などの基礎情報を集約した「企業データベース」と、企業訪問やこれまでの支援経過を記録した「企業カルテ」を整備した。

企業数	新規登録	廃業	市外移転
517社	0社	7社	0社

コ その他

(ア) 企業支援情報の発信

市内中小製造業者に対して、メールマガジンとダイレクトメールにて伊勢市産業支援センター及び関連機関の企業支援に関する情報を提供した。

情報提供方法	情報提供企業数	送付件数
メールマガジン(Eメール)	社 約 341	回 37
ダイレクトメール(郵送)	約 379	1

(イ) 講演会等外部支援状況の情報収集

①産業支援研修会等への参加

地域活性化につながる産業支援を一層推進するため、他団体が主催する会議へ出席し、情報交換を行った。

年月日	場所	研修会等
28. 5. 9	名古屋市	第13回NP0バイオものづくり中部記念講演会
28. 7. 19	飯田市	伊勢伝統工芸保存協会視察研修会
28. 10. 17	産業支援センター	佐賀県唐津市議会視察受入
28. 10. 24	津市	三重県戦略産業雇用創造プロジェクト推進協議会
28. 11. 29	津市	ICTでつなげる地域共生アグリバリュースペース 研究開発プラットフォーム
29. 3. 27	伊勢市	平成29年度県内企業の支援施策に関する説明会

②展示会での情報収集・情報発信

市内製造業者への支援のための情報収集及び情報発信を目的に、創業支援員や企業支援員がしんきんビジネスフェア 2016(9/21)、第19回関西設計・製造ソリューション展(10/7)、メッセナゴヤ 2016(10/27)の視察を行った。

③自主事業

・各種材料試験の実施

FRP新造船の材料試験(9件)と引張・圧縮・せん断等の材料試験(1件)の計10件を行った。

(2) 伊勢市産業支援センター運営協議会

伊勢市産業支援センターの円滑かつ適正な運営を図るため、地元企業や関係団体などで構成される運営協議会を開催し、指定管理者による運営についての意見聴取を行い、地域企業の意見等を可能な限り施策に反映させた。また、関係団体との連携・調整等に努めた。

13 消費生活関連事業

(1) 消費生活相談業務

伊勢市消費生活センターにおいて、架空請求や悪質商法、クーリング・オフなど、消費生活に

まつわるトラブルに関し、専門相談員による相談を行った。電話又は窓口にて相談者にアドバイスを行い、相談内容によっては、事業者への確認や交渉の手助けを行うなど、消費者問題の早期解決に努めた。

消費生活相談件数	751件
----------	------

(2) 啓発活動

消費者被害を未然に防ぐために地域包括支援センターと連携をとりながら、高齢者クラブを中心に出席講座を開催した。出席講座では、消費生活センターの紹介や、被害にあわないために気をつけること等、これまでの事例をもとに市で作成した紙芝居を使ってわかりやすい講座を実施した。

また、子どもの頃からの消費者教育の重要性を認識し、小学校や放課後児童クラブでお買い物ゲームを通して、お金の使い方を学ぶ体験型の授業を実施した。

このほか伊勢市消費生活センターを周知するため、市内で催されるイベントへブース出展した。

内 容	対 象	件 数
出席講座	高齢者クラブ ほか	9件
出席授業	小学校・放課後児童クラブほか	4
イベントへの出展	来場者	1

(3) 多重債務対策

多重債務に陥っている人が誰にも相談できず、解決の糸口さえ見つからないということがないよう、関係各課に消費生活センターへの案内を依頼した。

多重債務について相談があった際は、消費生活センターにて相談を受け付け、基本的な事項を聴き取ったうえで、司法書士や弁護士事務所の紹介・相談予約を行った。多重債務者を確実に法律専門家へつなげることで、多重債務問題の解決に努めた。

また、三重県司法書士会の協力を得て、毎月第3木曜日に無料多重債務相談会を開催した。

多重債務相談件数	96件
----------	-----

○ 労政関係

1 雇用対策事業

(1) 若年求職者等支援事業

若年者の中には、離職を繰り返す方、働く意欲はあるものの就職に至らない方、働く意欲が低下するなど社会生活そのものが困難な方など、職業的な自立が困難な方が多数存在しており、その要因は多岐に及ぶ。若年求職者・無業者の就職に向けて、国が設置する「いせ若者就業サポートステーション」と連携し、個別ケースに合わせた支援を実施することで、安定した就職の実現を目指した。

ア 伊勢市若者就職総合支援業務委託

- ・実施期間 平成 28 年 4 月 22 日～平成 29 年 3 月 31 日
- ・委託先 特定非営利活動法人いせコンビニネット
- ・委託料 4,273,728 円
- ・実績
 - ・臨床心理士による心理カウンセリング
実施回数：12 回
利用者数：延べ 23 人
 - ・適職診断等を用いた若者キャリア開発プログラム
実施回数：30 回
利用者数：延べ 73 人
 - ・講演会
実施回数：1 回
参加者数：30 人
 - ・セミナー・講座
実施回数：27 回
利用者数：延べ 151 人
 - ・ボランティア体験
実施回数：21 回
利用者数：延べ 69 人
 - ・就労体験
実施回数：70 回
利用者数：延べ 251 人
 - ・市内事業所見学会
実施回数：5 回
利用者数：延べ 22 人
 - ・ネットワーク会議
民間ネットワーク会議 平成 29 年 3 月 28 日 出席者数：8 人
行政ネットワーク会議 平成 29 年 1 月 27 日 出席者数：11 人

(2) 就労支援事業

ア 障がい者雇用促進の取り組み

(ア) 伊勢公共職業安定所と連携し、障がい者雇用の促進を目的として、伊勢市内の障害者雇用状況報告対象事業所（従業員 50 人以上）を訪問し、啓発活動を実施した。

実施日	訪問事業所数
28. 6. 21、7. 14、7. 28、8. 2	10

(イ) さらなる障がい者雇用の推進を図るため、事業所等を対象に「障がい者雇用促進セミナー」を開催した。

- ・実施日 平成 28 年 11 月 2 日
- ・場所 伊勢市生涯学習センター「いせトピア」

- ・参加者数 47人

イ 女性の再就職支援

結婚、出産、育児などにより離職した女性の再就職支援を目的に、『女性の再就職支援セミナー』を開催した。

- ・実施日 平成28年11月28日
- ・場所 伊勢市ハートプラザみその
- ・参加者数 16人

2 勤労者福祉事業

(1) 伊勢地域勤労者福祉サービスセンター補助金

伊勢市、鳥羽市及び玉城町の区域内の中小企業で働く勤労者と事業主への勤労者福祉制度の充実を推進し、併せて中小企業の発展を図るため、一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターに対して管理運営費の補助を行った。

名称	一般社団法人 伊勢地域勤労者福祉サービスセンター
所在地	八日市場町13番13号（サンライフ伊勢内）
実施事業	生活安定事業、健康管理事業、教室事業、余暇活動事業、余暇施設事業など
補助金額	13,284,000円（うち伊勢市負担金10,372,000円）
会員数 （平成29年3月）	827事業所、4,856人

(2) 勤労者ふれあい事業

10月9日（日）県営サンアリーナにて、一般社団法人伊勢志摩労働者福祉協議会等と共催で、福祉フェスティバル「勤労者ゆとりT・I・M・E y o u ・ ゆ う ・ 遊 i n g」を開催した。

当日は、市内の事業所の勤労者とその家族を中心に約25,000人の参加があり、ゆとりと豊かさの実感できる場、さらには家族ふれあいの場を提供した。

3 高年齢者労働対策事業

(1) 高年齢者労働能力活用事業費補助金

社会の高齢化が急速に進む中、高年齢者の多様化する就業ニーズに対応するため、労働対策及び生きがい対策の一環として設立した、公益社団法人伊勢市シルバー人材センターに対して管理運営費の補助を行った。

名称	公益社団法人 伊勢市シルバー人材センター
所在地	西豊浜町141番地
実施事業	高齢者に相応しい臨時的・短期的な就業（軽作業）、福祉・家事援助サービス等の提供
補助金額	17,964,000円
会員数等 （平成29年3月）	会員数861人、延べ就業人数82,652人 受託件数4,299件、契約金額366,839,293円

4 勤労者福祉施設管理運営事業

(1) サンライフ管理運営事業

勤労者福祉施設であるサンライフ伊勢について、平成 18 年 9 月から指定管理者制度に移行しているため、一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターによる管理運営を実施した。

指 定 管 理 者	指 定 管 理 料 (平成28年4月～平成29年3月分)
一般社団法人 伊勢地域勤労者福祉サービスセンター	5,319,000円

ア 運営状況

(ア) 利用件数及び利用者数

区 分	研修室	会議室	職業講習室	教養文化室	体育室	トレーニング室	計
利用件数	件 432	件 155	件 601	件 290	件 892	件 23,587	件 25,957
利用者数	人 4,498	人 1,478	人 18,006	人 4,109	人 22,093	人 23,587	人 73,771

(イ) 利用料収入

区 分	施設利用料	設備器具 利用料	冷暖房設備 利用料	計
28. 4～29. 3	15,871,550 円	454,800 円	434,820 円	16,761,170 円

(ウ) 自主事業

区 分	講座の種類と講座数	講 座 回 数	受 講 者 数
趣味づくり	10 種 12 講座	342 回	1,727 人
健康づくり	9 種 13 講座	465 回	
計	19 種 25 講座	807 回	1,727 人

イ 工事関係

施設整備工事を行い、施設環境の向上を図った。

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
八日市場町地内	(注) サンライフ伊勢 空調機取替工事	空調機取替 7組	円 4,989,600	28. 8.26	28.10.24

(注) 建築住宅課施行

(2) 労働福祉会館管理運営事業

労働者の福利増進及び市民の文化向上に寄与するため、会議室の貸室、維持管理を行った。

ア 伊勢市労働福祉会館運営委員会

平成 29 年 2 月 23 日 平成 27 年度及び平成 28 年度の利用状況について

・組 織

委 員 長 副市長

副委員長 産業観光部長

委 員 労働者を代表する者 4人

公益を代表する者 4人

市職員を代表する者 2人

イ 運営状況

(ア) 使用件数及び使用者数

区 分	大会議室	第 1 会議室	第 2 会議室	第 3 会議室	第 4 会議室	計
使用件数	件 135	件 402	件 293	件 91	件 158	件 1,079
使用者数	人 7,142	人 8,016	人 3,553	人 1,198	人 1,940	人 21,849

(イ) 使用料収入

区 分	施設使用料	設備器具 使用料	冷暖房設備 使用料	計
28. 4～29. 3	2,551,512 円	584,380 円	363,770 円	3,499,662 円

5 融資対策事業

(1) 勤労者持家促進資金貸付金

市内に居住又は県内事業所に勤務する勤労者が、市内に自己が居住する住宅を新築・増改築及び購入する時に、東海労働金庫の住宅貸付を利用した場合、その利子を軽減することで、勤労者の負担を緩和し、持家の促進を図った。

利子軽減の財源は、市から東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益を充てている。なお、協調融資期間は 10 年間である。

新規融資件数	新規融資額	預託金額	協調残高(平成 29 年 3 月)
0 件	0 円	2,190,000 円	2,125,094 円

※市からの預託金額は、年度末に同額が東海労働金庫から返還された。

○ 産業支援関係

1 企業立地推進事業

(1) 企業訪問の実施

企業訪問による企業誘致活動、工場新設及び増設計画の情報収集を実施した。また、市内企業の市外流出抑制のための営業活動を実施するとともに、市外企業については関係機関等とも連携し企業訪問を実施した。

訪 問 地 域	訪問件数	備 考
県外	40 件	(首都圏23件、関西圏1件、中京圏16件)
県内(市内除く)	8	—
市内	101	—
計	149	—

(2) 伊勢志摩地域産業活性化協議会

構成自治体 伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・南伊勢町・三重県

目 的 企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律

(企業立地促進法)に基づき、産業集積の形成又は産業集積の活性化に関する基本的な計画の策定及びその実施に関し必要な事項、その他地域における産業集積の形成又は産業集積の活性化に関し必要な事項について協議を行うことにより、当該地域における産業集積の形成及び産業集積の活性化のために当該地域の地方公共団体等が行う主体的かつ計画的な取組に寄与することを目的とする。

負担金 147,070 円

ア 三重県外資系企業セミナーへの参加

伊勢志摩地域における工業団地のPRを行い、新たな企業の誘致や雇用の創出につなげるとともに、伊勢志摩の観光や物産の紹介をするなど、伊勢志摩を総合的にPRすることを目的にセミナーへ参加した。

開催日時：平成28年12月12日(月)17:00~19:00

開催場所：ホテル ルポール麴町 東京都千代田区平河町2-4-3

出席者：87人(関東の外資系企業、金融・コンサル、関係団体、大使館等)

イ 人材育成事業の実施

協議会の事業として人材育成セミナーを開催した。

会場	年月日	参加人数	内容
伊勢市産業支援センター	29. 1. 20	18名	経営者及び人事労務担当者等を対象として、高年齢者を企業の戦力として積極的に活用するための人事制度や環境づくり、多様な働き方についての講習。

(3) 神菌工業団地の地積更正及び鑑定評価

神菌工業団地に係る分譲予定地の地積更正及び工場等立地促進奨励金算定のため土地鑑定評価を依頼した。

(4) 委託関係

神菌工業団地周辺の地下水利用について、水量及び水質調査を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
神菌町内	(注1)、(注2) 神菌地区揚水試験業務委託	揚水試験及び水質検査一式	円 497,880	28. 3. 25	28. 4. 28
〃	(注3) 神菌地区地下水調査業務委託	ボーリング工(揚水井) 3本 ボーリング工(観測井) 5本	16,571,520	28. 6. 24	28. 12. 19
計	2件	—	17,069,400	—	—

(注1) 平成27年度から繰越

(注2) 用地課から執行委任

(注3) 基盤整備課施行

(5) 公有財産購入

神菌工業団地用地の事業化に伴い、土地取得特別会計から所管替えを行った。

取得価格 111,636,350 円

所在地	地目	地積
伊勢市神菌町字里419番4	山林	552 m ²
伊勢市神菌町字里456番5	山林	361
伊勢市神菌町字瀧尻625番2	山林	477
伊勢市神菌町字吉ヶ尾836番	山林	730
伊勢市神菌町字見ノ越896番	山林	86,348
伊勢市神菌町字見ノ越948番1	原野	1,840
伊勢市神菌町字見ノ越968番1	山林	1,083
伊勢市神菌町字見ノ越969番2	原野	318
伊勢市神菌町字見ノ越1000番5	公園	397
伊勢市神菌町字切間1599番2	原野	1,291
伊勢市神菌町字切間1602番2	公衆用道路	54
伊勢市神菌町字切間1604番	原野	938
伊勢市神菌町字切間1636番	山林	253
計13筆	—	94,642

2 工場等誘致奨励事業

(1) 企業立地用地ならびに各種奨励制度の周知

各種奨励制度の見直しを行い平成 28 年 4 月から伊勢市工場等立地促進条例の一部改正を行った。工業団地が全て売約済みとなり、工業団地のみ対象となっていた用地取得奨励金の対象地域を市内全域に拡大した。ポストサミットとして、MICEが増加する可能性はあるものの、大規模な広間と洋式の客室を兼ね備えたホテルが少なく、また、今後のインバウンドも見込み、奨励制度の対象に旅館業を加えた。

市内への工場等の誘致・誘導について、伊勢市ホームページ等による各種奨励制度の周知に努めた。

(2) 工場等誘致奨励金の交付

本市における産業の振興及び雇用の促進を図り、もって地域の活性化に資するため、伊勢市工場等立地促進条例に基づき奨励金を交付した。

事業者名	交付決定額	概要
(株) ふじよし	17,338,800 円	用地取得奨励金
みえぎょれん販売(株)	4,800,000	雇用奨励金
ティアンドティ(株)	1,400,000	雇用奨励金
(株) 三水	1,400,000	雇用奨励金
(株) 三水フーズ	2,200,000	雇用奨励金
キクカワエンタープライズ(株)	4,054,300	設備投資奨励金
ヤマナカフーズ(株)	2,498,300	設備投資奨励金

(株) 利八屋	円 896,700	設備投資奨励金
みえぎょれん販売 (株)	1,779,100	設備投資奨励金
ティアンドティ (株)	272,000	設備投資奨励金
(株) 三水	981,400	設備投資奨励金
計	37,620,600	11件

3 企業立地推進一般経費

(1) 企業立地・産業支援研修会への参加

地域活性化につながる企業立地を一層推進するため、研修会に参加し職員の資質を高め、情報収集に努めた。

年 月 日	研 修 会 名 称	開催場所	主催者及び内容
28. 11. 10 ~ 28. 11. 11 (2日間)	第122回産業立地研修会	東京都	日本立地センター主催 最新の立地動向、他市の取り組み等の情報を得て、企業立地に関する見識を深めた。

(2) 企業立地用地の維持管理

サン・サポート・スクエア伊勢について、市有地の草刈を行い適切な維持管理に努めた。

(3) 備品購入

カラーレーザープリンタの保守可能期間終了に伴い更新をした。

総務課へ執行委任

○ 伊勢志摩サミット関係

1 伊勢志摩サミット推進事業

(1) 伊勢志摩サミット伊勢おもてなし会議

伊勢志摩サミットの開催を契機として、市民及び事業者の「おもてなし」の心を育むとともに、伊勢を訪れる方々を「おもてなし」の心を持って温かく迎えることにより、何度も訪れたい魅力あるまちにすることを目的として、平成 27 年 7 月 31 日、「伊勢志摩サミット伊勢おもてなし会議」を設立し平成 28 年度は次のとおり会議を開催した。

開催状況

開 催 日	議 事	会 場
【第6回】 28. 6. 22	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢志摩サミットに対する取組みについて ・ポストサミットについて ・伊勢志摩サミット伊勢おもてなし会議の解散について 	伊勢市労働福祉会館 2階大会議室

(2) 伊勢志摩サミット伊勢おもてなし会議の取組み

ア クリーンアップ活動の実施

伊勢志摩サミット開催に向け、当市を訪れる方々をきれいな街なみでお迎えするため、次のとおりクリーンアップ活動を実施した。

開催状況

開催日	開催場所	参加人数
28. 5. 7	県営サンアリーナ周辺	約650人
28. 5. 15	市内の各自治会の区域	約6,000人

イ 花いっぱいおもてなし運動の実施

平成 28 年 5 月 7 日国際メディアセンターとなる県営サンアリーナ横の朝熊山麓公園花の広場に、朝熊山麓に花を咲かす会の協力を得て、市民参加型の植栽イベントを実施した。地元の明野高等学校に花 2,000 株の準備協力を得て、4,000 株を植えた。当日は、花を育てた明野高等学校の生徒達にも参加いただき、植栽前に花の引渡しセレモニーを実施した。（約 100 名参加）

ウ 吊下げ旗の作成

伊勢志摩サミットで来訪される方を歓迎する意を込めて、吊下げ旗を作成した。吊下げ旗は、市内の主要駅、商店街、自治会、公共施設等に配布し、市民の機運の醸成を図った。

今年度追加作成数：950 枚（合計 1,600 枚作成）

エ 外国語指さし会話シート活用基礎セミナーの開催

伊勢志摩サミットを機に、外国の方々を積極的にお迎えするべく、外国語会話の補助ツールとして作成した指さし会話補助シートを用いた、基礎的なコミュニケーションを図れるように、伊勢市国際交流協会及び在日外国人の方を講師に招き、伊勢市民、伊勢市内事業所を対象にセミナーを開催した。

開催日時：平成 28 年 5 月 19 日（木）19：00～20：35

開催場所：小俣合同会館集会室

参加人数：17 人

農 林 水 産 課

○ 農業振興関係

1 伊勢地域農業共済事務組合事業

農業災害補償法の規定に基づく農業共済事業を効率的・安定的に運営するため、「伊勢地域農業共済事務組合」の運営経費の一部を構成7市町で負担した。

伊勢市負担分 41,560,000 円

構成7市町 伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町

2 農業経営基盤強化促進事業

(1) 経営改善・就農計画支援活動

「伊勢市農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想」に基づき、優れた農業経営体を目指して、農業経営の改善を計画的に進めようとする者が作成した農業経営改善計画や農業経営の発展目標を明らかにし、新たに農業経営を営もうとする者が作成した青年等就農計画を認定し、この改善・就農計画の推進を支援した。

認定農業者 126 人（平成 29 年 3 月末現在）

認定新規就農者 4 人（平成 29 年 3 月末現在）

平成 28 年度新規認定（認定農業者 2 件、認定新規就農者 2 件）

(2) 利用権設定等促進事業

効率的かつ安定的な農業経営が農業生産の相当部分を担う農業構造を確立するため、関係機関・団体が農地の流動化に関する情報を共有し、連携して認定農業者等の育成すべき農業経営者への農地の利用集積を進めた。

ア 農業経営基盤強化促進法に基づく利用権等設定面積

区 分	面 積
利用権設定（累積）	595.7 ha
H28.4～H29.3 実績	
設 定	129.0
中途解約	18.5
所有権移転	1.4

3 農業関係制度資金の活用等

(1) 伊勢市特別融資制度推進会議

効率的かつ安定的な農業経営を目指す農業者が必要とする農業関係資金の、適正かつ円滑な融資運営等に資するため、関係機関による伊勢市特別融資制度推進会議において、貸付けの

認定等を行った。

資金名	貸付件数	借入総額
農業近代化資金	14件	43,540,000円
農業経営改善促進資金 (スーパーS資金)	9	130,000,000
農業経営基盤強化資金 (スーパーL資金)	2	39,450,000
青年等就農資金	—	—
計	25	212,990,000

(2) 利子補給補助事業

経営改善を目指す認定農業者を支援するため、農業近代化資金等の借入れに際し、発生する利子の一部を助成した。

資金名		件数	借入残高	利子補給額 予定	備考
農業近代化資金	上半期 (1~6月)	89件	161,686,000円	176,650円	市単独事業
	下半期 (7~12月)	91	158,310,000	160,766	
農業経営基盤強化資金 (スーパーL資金)		8	74,693,753	252,098	うち県補助金 81,675円
計		188	394,689,753	589,514	

4 農業体験学習事業

食育推進の一環として農業体験を含む食育の機会を設け、食の大切さ、食をはぐくむ産業である農業の大切さなどについて考えてもらう機会を提供した。

事業費 376,868円 (市単独事業)

実施日	対象	内容
【水稲】		
28. 5. 6	進修小 5年生 (22人)	(田植え: 東大淀町)
〃	東大淀小 5年生 (21人)	(田植え: 東大淀町)
	※4/28(修道小、宮山小、厚生小、大湊小)、5/6午後(有緝小、御菌小)は天候不良で中止	
28. 9. 15	進修小 5年生 (22人)	(稲刈り: 東大淀町)
〃	東大淀小 5年生 (21人)	(稲刈り: 東大淀町)
〃	有緝小 5年生 (90人)	(稲刈り: 村松町)
〃	御菌小 5年生 (88人)	(稲刈り: 村松町)
	※9/6(修道小、宮山小、厚生小、大湊小)は天候不良で中止	
【蓮台寺柿】		
28. 11. 11	佐八小 3年生 (13人)	(収穫等: 勢田町)
〃	豊浜東小 3年生 (10人)	(収穫等: 勢田町)

【青ねぎ】		
28. 11. 17	進修小	3年生 (33人)
29. 2. 9	進修小	3年生 (33人)
	※天候不良により収穫体験は中止	
【横輪いも】		
28. 12. 12	上野小	5年生 (13人) 6年生 (18人)
		(定植：小俣町) (工場見学：植山町)
		(収穫：横輪町)

5 遊休農地活用事業

農村環境や農業経営の現場で様々な問題を引き起こす遊休農地の解消を図るため、地域農業の担い手が遊休農地を活用して営農するにあたり、その再開に必要な草刈りや耕起など、遊休農地を営農可能な状態に回復するための支援を行った。

交付単価 補助対象経費の2分の1以内の額

ただし、50,000円/10aを上限に必要な経費を助成する

事業費 747,371円 (市単独事業)

年度	遊休農地面積	農地全体に占める割合
	ha	%
H26	130.4	4.0
H27	123.1	3.7
H28	104.9	3.2

6 新規就農者総合支援事業費補助金

新規就農するにあたって所得の確保が課題となっていることから、経営の不安定な就農初期の青年就農者に対する給付金を給付し、青年就農者の増加及び就農後の定着を図った。

給付額 14,250,000円 (年間)

750,000円 (半期分) × 対象者1名 + 1,500,000円 (1年分) × 対象者9名分

7 経営所得安定対策推進事業

意欲ある農業者が需要のある作物を生産することに対して交付金を交付することにより、農業経営の安定や農地の有効利用を図った。

事業費 6,152,502円 (国庫補助 6,144,000円、市単 8,502円)

8 農業振興地域整備促進事業

農業振興地域整備計画に基づき地域内における計画的土地利用を進める中、農業諸情勢の変化に対応して、地域の土地利用の動向を踏まえ、他の土地利用との調整を図り、地域の特性及び課題に応えるべく、農用地の見直しを行った。

農用地利用計画変更面積：平成28年度除外予定分

利用計画変更分	件数	筆数	面積
	件	筆	m ²
農用地除外	7	7	3,001
農用地編入	12	45	30,384
用途変更	4	23	22,321

事業費 128,340円 (市単独事業)

9 農業振興事業

農家のグループやJA生産者部会、集落営農組織などが行う地域農業の振興に資する取組みについて、補助金を交付することで支援を行った。

(1) 蓮台寺柿保存育成事業

300年以上の歴史をもち、市の天然記念物である蓮台寺柿の宅地開発等による減産傾向に歯止めをかけ、地域の特産物として保存育成するため、苗木育成、共同防除その他の事業を支援することで、栽培農家の振興と経営の安定を図った。

事業主体	蓮台寺柿保存育成研究会
事業費	123,862円
補助額	22,295円

(2) 三重県伊勢志摩指導農業士会活動助成金

地域農業のリーダーである指導農業士会が行う農業後継者育成の活動及び地域農業の振興に資する活動に対する支援を行った。

交付先	伊勢志摩指導農業士会
補助額	120,000円 (20,000円/1名×市内在住6名分)

(3) 三重県伊勢志摩青年農業士会活動助成金

地域農業の担い手である青年農業士が行う農業技術向上のための研修交流及び地域農業の振興に資する活動に対する支援を行った。

交付先	伊勢志摩青年農業士連絡協議会
補助額	40,000円 (10,000円/1名×市内在住4名分)

10 地産地消推進事業

(1) 伊勢市地産地消の店認定制度

市内産農林水産物を食材として取り扱う飲食店等を、伊勢市地産地消の店として認定し、当該店の地産地消に係る取組みを消費者に周知することにより、市内産農林水産物の消費及び需要の拡大を図った。

平成28年10月認定店 2店舗 (内訳：飲食店2)

※累積：76店舗 (飲食店53、宿泊施設2、小売店10、直売所5店、量販店6)

事業費 1,409,877円 (市単独事業)

(2) 伊勢市農産物等消費推進事業補助金

地域農業における農村コミュニティーの再構築や地域農業の維持発展を目的に、地域で採れた農産物などを地域で消費する「地産地消」活動である農産物直売所事業に対して消耗品や資材面で支援を行った。(市単独事業)

交付先	事業費	補助額
伊勢市産直部会	円 48,600	円 48,600

ハノカの里	円 49,567	円 49,567
まぜ楽市	52,910	50,000
計	151,077	148,167

(3) 学校給食への市内農水産物の使用支援

学校給食に市内産農水産物を活用していくことで地産地消を推進するとともに、生産者への感謝の念、地域産業や文化を理解し、郷土への関心を深め、より健全な食生活を実践できる児童生徒の育成を図った。

交付先 伊勢市学校給食協会
補助額 665,584円（市単独事業）

11 特色ある農産物づくり支援事業

有機・減農薬栽培の促進、先進的又は地域の特色ある農産物づくりに取り組む農業者に対して支援を行い、地域農業の活性化を図った。

事業主体 横輪町活性化委員会
事業内容 横輪いもの栽培にかかる肥料や農薬、資材等を一括で購入し、統一的な共同作業により効果的に病害虫の駆除を実施し、横輪いもの栽培方法の確立及び生産量の増大を図った。
事業費 527,370円
補助額 250,000円（市単独事業）

12 6次産業化推進事業

(1) 6次産業化支援事業補助金

新たに6次産業化支援事業補助金を創設し、農産物の6次産業化を主体となつて行う農業者やそれらで構成する団体に対し、市内産の農産物を使用した新たな加工品の開発や販売などに係る必要な経費を支援し、市内の農産物の6次産業化を推進した。

交付先 認定農業者、横輪町活性化委員会、伊勢農業協同組合
事業内容 食品乾燥機導入等による規格外品の加工品開発、業務用おろし専用機導入等による規格外品の活用、加工品開発の模索
補助額 1,029,000円（市単独事業）

13 農林水産物ブランド化推進事業

(1) 農産物ブランド化推進事業補助金

近年、産地間競争の激化に伴う農産物価格の低迷などにより農業を取り巻く環境は厳しい状況になっている。その中で、消費者に選ばれる農産物を提供していくことは重要であることから、市内産農産物のブランド化を推進する取り組みに対して支援し、地域農業の振興を図った。

交付先	事業費	補助額	内 容
株式会社あぐりん伊勢	円 780,000	円 361,000	青ねぎの新規就農者育成を実施する圃場の湿害対策としてドリームロータリーを導入し、ねぎの安定供給と生産量増加を図った。
J A伊勢青ねぎ部会	410,000	189,000	湿害対策として青ねぎの圃場を耕作する際に使用する溝掘機を導入し、生産量増加や品質向上を図った。
農事組合法人鈴木農園	850,000	393,000	干し柿の増産を目的に食品乾燥機を導入し、柿の6次産業化の推進と認知度向上を図った。
横輪町活性化委員会	269,870	124,000	生産に必要な資材、PR活動に使用する販促資材を導入し、生産の効率化と認知度向上を図った。
計	2,309,870	1,067,000	

14 経営体育成支援事業

地域の中心となる農業経営体等が、融資を活用して農業用機械等を導入し経営改善・発展に取り組む場合に、事業費の3/10を上限とし融資残額を補助する。平成28年度は実績無し。

15 農地中間管理事業

(1) 農地中間管理事業業務委託

今後、農業者の高齢化や減少により耕作者のいない農地の増加が見込まれる。そこで、「人・農地プラン(地域農業マスタープラン)」と連携しつつ、農地の中間受け皿となる農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化に対する周知・定着を図った。

農地中間管理事業業務委託費 566,896円 (全額機構委託金)

貸付実績 11.0ha (地権者→機構) ※担い手へは平成28年度中に貸付済み

(2) 機構集積協力金交付事業

農地中間管理機構を通じた農地の集積・集約化等を促進し、担い手への農地の集積・集約化を加速するため、それに協力する地域や地権者などに対する支援を行った。

機構集積協力金 5,648,500円 (全額国庫補助)

交付金種類	対象	交付対象	補助額
地域集積協力金	あわの農地集積委員会	地域内の2割を超える農地を機構に貸付けた地域。	円 2,230,500
経営転換協力金	農業者(22名)	機構に農地を貸付けることにより複数ある部門(田、畑、果樹等)の一部を廃止し経営転換するもしくは、農業をリタイヤする農家。	569,000
耕作者集積協力金	農業者(16名)	機構に農地を貸付けた農地が、すでに機構に貸付けられた農地の隣であるなど農地の集積・集約化に協力した農家。	2,849,000

16 人・農地問題解決加速化支援事業

農業が厳しい状況に直面している中で、持続可能な力強い農業を実現するためには、基本となる人と農地の問題を一体的に解決していく必要がある。そこで、それぞれの集落・地域において

話し合いを行い、集落・地域が抱える人と農地の問題を解決するための「未来の設計図」となる「人・農地プラン（地域農業マスタープラン）」の作成に関する支援を行った。

- ・人・農地プラン作成地域 3地区 【栗野町、西新村、伊勢市全域（作成済地域を除く）】
- ・人・農地プラン説明会実施回数 9回【鹿海町、豊西まちづくりの会、楠部町、二見町荘、二見町西、馬瀬町、栗野町、中須町、東大淀町】

17 農業経営法人化等支援事業

地域の中心となる経営体の育成確保のため、集落営農の組織化や集落営農組織の法人化に対する支援を行った。（全額国庫補助）

交付先	法人化前の名称	内容	補助額
株式会社 A-ISO	磯町営農団体	集落営農組織の法人化	円 400,000

○ 施設管理関係

1 農業用施設維持補修

農道及び農業用排水路の機能を保持するため、修繕工事や草刈業務委託、重機借上・原材料支給を行い、農村環境・農業基盤の整備を図った。

（1）委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
津村町 地内ほか	(注1)(注2) 伊勢自動車道側道ほか除草 等業務委託	施行延長 4,185m 除草工 7,619 m ² 枝払工 5,120 m ²	円 3,759,480 【契約額】 5,617,080 [農林水産課] 3,759,480 [維持課] 1,857,600	28. 1. 27	28. 5. 27
栗野町 地内	菱川除草業務委託	除草業務 一式	58,127	28. 7. 1	28. 7. 29
二見町松下 地内ほか	二見町ふるさと農道除草業 務委託	除草業務 一式	65,319	28. 8. 22	28. 9. 30
藤里町 地内	伊勢自動車道側道倒木伐採 業務委託	倒木伐採処分 一式	39,960	28. 9. 16	28. 9. 26
伊勢市 市内	農道台帳修正業務委託	台帳修正 一式	1,296,000	28.10. 6	29. 3. 15
計	5件	—	5,218,886	—	—

（注1）維持課から執行委任

（注2）平成27年度から繰越

※合計は、各行の最上段を合算。

(2) 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
磯地 町内	農業用排水路修繕工事	農業用排水路修繕一式	円 89,640	28. 4. 4	28. 4. 18
有地 滝 町内	農道乗入設置工事	農道乗入設置一式	54,000	28. 4. 4	28. 4. 19
津地 村 町内	農道路肩修繕工事	農道路肩修繕一式	97,200	28. 4. 14	28. 5. 31
二見町山田原地	農業用排水路防護柵修繕工事	フェンス修繕 5.2m	77,544	28. 4. 21	28. 5. 18
有地 滝 町内	農道修繕工事	舗装修繕 21 m ²	97,200	28. 5. 9	28. 5. 16
二見町山田原地	調圧水槽修繕工事	給水管修繕一式	68,040	28. 5. 27	28. 6. 6
粟地 野 町内	農業用排水路スクリーン設置工事	スクリーン設置 1基	41,040	28. 6. 15	28. 7. 11
二見町山田原地	農業用排水路防護柵修繕(その2)工事	フェンス修繕 14.5m	64,800	28. 9. 12	28. 9. 30
中地 須 町内	菱川堤防修繕工事	堤防修繕 94.0m	270,000	28. 9. 21	28. 10. 12
神地 菌 町内	農業用排水路修繕(その2)工事	排水路修繕一式	99,360	28. 10. 12	28. 11. 4
佐地 八 町内	農業用排水路陥没修繕工事	陥没修繕一式	86,400	28. 10. 24	28. 10. 31
矢地 持 町内	無名橋欄干修繕工事	欄干修繕一式	99,360	28. 10. 25	28. 11. 28
津地 村 町内	農道法面修繕工事	法面修繕一式	334,800	28. 11. 1	28. 11. 22
御菌町高向地	農道道路舗装補修工事	舗装補修 15.3m	493,300	29. 1. 20	29. 2. 15
二見町西地	農業用排水路柵嵩上工事	柵嵩上一式	98,928	29. 1. 25	29. 3. 15
小地 木 町内	農業用排水路蓋修繕工事	排水路蓋修繕 10.3m	723,600	29. 1. 27	29. 3. 3
二見町溝口地	農業用排水路修繕(その3)工事	排水路修繕一式	99,360	29. 2. 25	29. 3. 23
計	17件	—	2,894,572	—	—

(3) 重機借上・原材料支給

	施行場所	金額
重機借上	村松町地内 ほか12件	円 3,839,724
原材料支給	佐八町地内 ほか 4件	225,970
計	—	4,065,694

2 多面的機能支払交付金事業

農村地域の過疎化、高齢化、混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつあり、地域の共同活動の困難化に伴い、農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理に対する担い手農家の負担の増加も懸念されるところである。当事業により地域においての農業用排水路等の保全管理と施設の長寿命化の活動を行うことにより農村環境の保全、農業・農村の有する多面的機能が今後とも適切に維持・発揮されることを目的とする。

当事業については、平成 26 年度は事業の移行期間、平成 27 年度については本格実施となり法律に基づき実施する事業となった。（農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律）

平成 28 年度については農地維持支払・資源向上支払（地域資源の質的向上を図る共同活動）において、従前農地・水保全管理支払交付金事業から継続し実施している組織の内 19 組織が今年度にて 5 年の協定期間を終了した。また、資源向上支払（施設の長寿命化のための活動）については取組を行っている 18 組織の内 17 組織が協定期間を終了した。協定期間が終了した組織が、新たに活動を開始する為には市の認定を受ける必要がある。

(1) 農地維持支払、資源向上支払（地域資源の質的向上を図る共同活動）

事業実施期間は 5 年間とされており、従前の農地・水保全管理支払交付金事業から継続し実施する組織については、それぞれ制度実施年度から 5 か年が協定期間となる。

負担率 国 1/2 県 1/4 市 1/4

交付金単価（国、県、市の合計）（事業を開始した年度によりそれぞれ変動）

ア 農地維持支払 田：3,000 円/10a 畑：2,000 円/10a

イ 資源向上支払（地域資源の質的向上を図る共同活動）

(ア) 従前の農地・水保全管理支払交付金事業 5 年間未実施組織及び資源向上支払（施設の長寿命化）未実施組織 田：2,400 円/10a 畑：1,440 円/10a

(イ) 従前の農地・水保全管理支払交付金事業 5 年間実施組織又は資源向上支払（施設の長寿命化）実施組織 田：1,800 円/10a 畑：1,080 円/10a

(2) 資源向上支払（施設の長寿命化のための活動）

事業実施期間は 3 年間とされており、平成 26 年度から平成 28 年度の 3 か年が協定期間となる為、平成 27 年度に活動を開始した 1 組織を除く 17 組織の協定期間が終了した。

また、平成 28 年度からの法改正により、交付上限金額は対象農用地の面積に単価を乗じた金額又は、保全管理する区域内に存在する農業集落数に 200 万円を乗じた金額のいずれか小さい

額と定められた。

負担率 国 1/2 県 1/4 市 1/4

交付単価（国、県、市の合計） 田：4,400円/10a 畑：2,000円/10a

又は保全管理する区域内に存在する農業集落数に200万円を乗じた金額

(3) 平成28年度、活動組織交付額一覧表

※平成28年度は協定期間を終了する組織が多数存在し、三重県の方針として活動期間終了時に0円精算を行う必要がある為、交付申請において以内申請を行った組織が1組織存在した。

また、過去に対象農用地にて一時転用を行っており、交付金の遡及返還が必要となる組織が1組織存在した。その為、遡及返還額を今年度の交付額から相殺する相殺交付を行った。

ア 農地維持支払・資源向上支払（地域資源の質的向上を図る共同活動）

活動組織名	位置	農用地面積	支援額	市の支援金	活動開始年度
一色資源等保全協議会	一色町集落一円	a 4,838	円 2,322,240	円 580,560	19
森区ふるさと保全活動隊	西豊浜町森区集落一円	7,915	3,799,200	949,800	19
伊勢北部地区自然を守る会	植山町、有滝町、西豊浜町、東豊浜町、村松町集落（の一部）一円	7,150	2,989,616	747,404	19
有滝の自然を守る会	有滝町集落一円	2,260	1,064,160	266,040	19
村松ふるさと保全会	村松町集落一円の地域	14,025	6,633,960	1,658,490	19
柏町みのり会	柏町一円	4,682	2,236,352	559,088	19
上地・水・土・里グループ	上地町地内集落一円	16,090	7,640,640	1,910,160	19
こころ豊かなあわの村	栗野集落一円	6,395	3,025,912	756,478	19
鹿海町農地・水保全活動組織	鹿海集落一円	7,357	3,531,360	882,840	19
上野町日向野里 ※2	上野町字日向・大津野集落一円	4,875	2,306,680	576,670	19
弁天様協議会	円座町集落一円	3,680	1,766,400	441,600	19
津村町地区農地・水・環境保全会	津村町集落	3,010	1,273,660	318,415	20
楠部地区農地・水・環境保全会	楠部町集落	3,343	1,604,640	401,160	20
佐八地区農地・水・環境保全会 ※1	佐八町集落	3,369	404,476	101,119	20
中須町農地・水保全会	中須町集落一円	2,745	1,254,476	313,619	20
まぜ創生グループ	馬瀬町集落	2,415	1,054,108	263,527	20
通町ふるさと再生活動隊	通町集落	1,412	677,760	169,440	20
水土里プロジェクトおばた	小俣地区	28,095	12,544,588	3,136,147	20

磯地区農地・水・環境保全会	磯集落一円	a 4,200	円 1,852,600	円 463,150	21
上区資源環境保全プロジェクト	西豊浜町上区集落一円	10,602	5,010,184	1,252,546	25
東大淀を守る会	東大淀集落一円	17,864	8,572,312	2,143,078	26
黒瀬町農地保全会	黒瀬町集落一円	1,342	644,160	161,040	26
小川地域環境保全会	西豊浜町小川区一円	3,550	1,819,000	454,750	26
田尻町農地管理会	田尻町集落一円	1,830	541,000	135,250	26
西環境保全会	二見町西集落一円	3,930	1,704,424	426,106	27
小木町農地管理会	小木町農地一円	2,610	744,200	186,050	27
計	—	169,584	77,018,108	19,254,527	—

※1・・・以内申請を行った組織

※2・・・相殺交付を行った組織

イ 資源向上支払（施設の長寿命化のための活動）

※平成28年度にて交付金の対象となる農用地面積の計画変更を行った為、平成28年度の法改正による、保管理する区域内に存在する農業集落数に200万円を乗じた金額が交付金額となった組織が1組織存在した。

活動組織名	位置	農用地面積	支援額	市の支援金	活動開始年度
一色資源等保全協議会	一色町集落一円	a 4,838	円 2,128,720	円 532,180	19
伊勢北部地区自然を守る会	植山町、有滝町、西豊浜町、東豊浜町、村松町集落（の一部）一円	7,150	2,528,720	632,180	19
村松ふるさと保全会	村松町集落一円の地域	14,025	6,034,200	1,508,550	19
柏町みのり会	柏町一円	4,682	2,044,720	511,180	19
上地・水・土・里グループ	上地町地内集落一円	16,090	6,964,400	1,741,100	19
こころ豊かなあわの村	栗野集落一円	6,395	2,752,840	688,210	19
上野町日向野里 ※1	上野町字日向・大津野集落一円	4,875	2,000,000	500,000	19
弁天様協議会	円座町集落一円	3,680	1,619,200	404,800	19
津村町地区農地・水・環境保全会	津村町集落	3,010	1,085,600	271,400	20
楠部地区農地・水・環境保全会	楠部町集落	3,343	1,470,920	367,730	20
中須町農地・水保全会	中須町集落一円	2,745	1,119,720	279,930	20

まぜ創生グループ	馬瀬町集落	a 2,415	円 915,960	円 228,990	20
水土里プロジェクトおばた	小俣地区	28,095	11,048,760	2,762,190	20
磯地区農地・水・環境保全会	磯集落一円	4,200	1,620,000	405,000	21
上区資源環境保全プロジェクト	西豊浜町上区集落一円	10,602	4,554,960	1,138,740	25
東大淀を守る会	東大淀町集落一円	17,850	7,854,000	1,963,500	26
黒瀬町農地保全会	黒瀬町集落一円	1,342	590,480	147,620	26
西環境保全会	二見町西集落一円	3,930	1,475,280	368,820	27
計	—	139,267	57,808,480	14,452,120	—

※１・・・保全管理する区域内に存在する農業集落数に200万円を乗じた金額が交付金額となった組織

3 伊勢市都市農山村交流促進施設管理

(1) 施設管理

横輪地区活性化事業で整備した伊勢市都市農山村交流促進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民と都市住民が集い触れ合う交流の場として地域の活性化を図った。

- ・施設名 伊勢市都市農山村交流促進施設 郷の恵「風輪」
- ・指定管理者 横輪町活性化委員会
- ・平成28年度指定管理委託期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日
- ・指定管理委託料 2,451,000円
- ・施設利用状況等

期 間	開館日数	来客人数
28. 4. 1～28. 4. 30	26 日	3,300 人
28. 5. 1～28. 5. 31	23	485
28. 6. 1～28. 6. 30	21	674
28. 7. 1～28. 7. 31	24	540
28. 8. 1～28. 8. 31	23	537
28. 9. 1～28. 9. 30	21	356
28. 10. 1～28. 10. 31	21	329
28. 11. 1～28. 11. 30	23	858
28. 12. 1～28. 12. 31	21	526
29. 1. 1～29. 1. 31	21	361
29. 2. 1～29. 2. 28	19	330
29. 3. 1～29. 3. 31	21	518
計	264	8,814

(2) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
横 輪 町 地 内	宮山管理業務委託	管理業務 一式	円 300,000	28. 4. 1	29. 3. 22

(3) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
横 輪 町 地 内	郷の恵風輪ウッドデッキ ほか塗装工事	高圧洗浄及び塗装工 70 m ²	円 267,840	29. 2. 22	29. 3. 24

4 二見しょうぶロマンの森維持管理

(1) 施設管理

伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設（「民話の駅蘇民」「しょうぶ園」）について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、農村地域資源を活用し地域の活性化を図った。

- ・施設名 伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設
- ・指定管理者 一般社団法人 民話の駅 蘇民
- ・平成 28 年度指定管理委託期間 平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
- ・指定管理委託料 4,949,486 円
- ・施設利用状況

期 間	開館日数	来客人数
28. 4. 1～28. 4. 30	30 日	11,807 人
28. 5. 1～28. 5. 31	31	13,070
28. 6. 1～28. 6. 30	30	15,491
28. 7. 1～28. 7. 31	31	14,292
28. 8. 1～28. 8. 31	29	12,840
28. 9. 1～28. 9. 30	30	11,723
28. 10. 1～28. 10. 31	30	12,374
28. 11. 1～28. 11. 30	30	12,321
28. 12. 1～28. 12. 31	31	14,115
29. 1. 1～29. 1. 31	28	9,734
29. 2. 1～29. 2. 28	28	10,728
29. 3. 1～29. 3. 31	31	11,651
計	359	150,146

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町松下 地 内	民話の駅蘇民店内空調機 修繕工事	空調機修繕 1基	円 1,026,000	28. 5. 10	28. 6. 17

二見町松下地内	しょうぶ園橋欄干修繕工事	橋欄干補強 一式	円 83,592	28. 5.13	28. 5.19
〃	民話の駅蘇民事務所内空調機修繕工事	事務所内エアコン修繕 一式	54,810	28. 5.30	28. 6. 7
〃	しょうぶ園園路修繕工事	園路補修工事 一式	99,360	28. 6.10	28. 6.15
〃	民話の駅蘇民便所修繕工事	女子便所修繕工 一式	92,880	28. 9. 2	28. 9.26
〃	民話の駅蘇民外部階段前木製梁修繕工事	木製梁修繕 1か所	16,200	28. 9. 9	28. 9.14
〃	民話の駅蘇民便所修繕(その2) 工事	便所扉修繕 1か所	87,696	28. 9. 9	28. 9.30
〃	民話の駅蘇民食品梱包室空調機修繕工事	空調機修繕 1基	130,680	28. 9.27	28.10.17
〃	民話の駅蘇民区画線塗替え工事	区画線塗替え 一式	96,120	28.10. 5	28.11.11
計	9件	—	1,687,338	—	—

5 サンファームおばた維持管理

経営構造対策事業によって整備した産直施設であるサンファームおばたの管理運営を行い、農家の市場出荷以外の販路を確保し、農業者の経営安定、担い手の育成等を図った。

(1) 市有建物の貸付

所在地	構造	建物面積	貸付先	貸付料(年額)	用途	期間
小俣町湯田55番地	鉄骨造折板葺平屋建	m ² 429.12	有限会社 サンファーム おばた	円 629,400	農産物販売 (産直市)	自 28. 4. 1 至 29. 3.31

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
小俣町湯田内	サンファームおばた駐車場区画線設置工事	駐車場区画線設置 一式	円 64,800	29. 3. 1	29. 3.21

6 伊勢市二見健康管理増進センター維持管理

漁村環境整備事業で整備した伊勢市二見健康管理増進センターについて、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民の生活及び健康管理の向上と明るく豊かな地域づくりの増進を図った。

- ・施設名 伊勢市二見健康管理増進センター
- ・指定管理者 二見町松下区
- ・平成28年度指定管理委託期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日
- ・指定管理委託料 178,971円

7 樋門の維持管理

流域への湛水による被害を未然に防止するため、地元自治会等へ管理を委託することにより、樋門の機能を保持し、安全管理を図った。

(1) 三重県県土整備部所管

樋門名	所在地	委託先	管理委託料
東伊阿良	有滝町	有滝町会	円 20,600
江川	〃	〃	24,700
社護神	〃	〃	16,500
土路西条 4号	西豊浜町	上区自治会	16,500
土路西条 5号	磯町	磯町自治会	16,500
矢田川	楠部町	楠部町自治会	20,600
津村	津村町	津村町	16,500
宮沼	〃	〃	20,600
名古屋新田	二見町三津	三津区	20,600
計	9樋門	—	173,100

(2) 市所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委託先	管理委託料
満城	磯町	磯町自治会	円 20,600
磯	〃	〃	16,500
相合端	〃	〃	16,500
堀の内	西豊浜町	森区自治会	16,500
中島	〃	小川区農事部	16,500
郷垣外	〃	〃	14,450
中坪井	〃	〃	16,500
下坪井	東豊浜町	東豊浜町西条自治会	16,500
浜	〃	〃	16,500
西浦	〃	〃	16,500
西条第一	〃	〃	16,500
浦ノ山	〃	土路区町会	16,500
墓ノ浦	〃	〃	20,600
里浦	〃	〃	16,500
一本松	檜原町	檜原町会自治会	16,500
枯木州	〃	〃	16,500
地蔵池	村松町	有滝町会	14,450

南 挟 間	村 松 町	有 滝 町 会	円 14,450
西の小端 第一	〃	〃	14,450
イナ川	有 滝 町	〃	16,500
西 曾	西 豊 浜 町	豊 浜 土 地 改 良 区	17,600
亀 池	村 松 町	村 松 町 会	24,700
旧 汐 田	東 大 淀 町	東 大 淀 町 会	17,600
明 野	〃	〃	15,000
東 勘 坊	柏 町	柏 町 会	17,600
大 切 戸	一 色 町	一 色 町 自 治 会	20,600
戸 部 神	〃	〃	16,500
中 渠	楠 部 町	楠 部 町 自 治 会	17,600
小 畑	中 村 町	中 村 土 地 改 良 区	15,000
八 郎 兵 衛	鹿 海 町	鹿 海 町 自 治 会	20,600
西 新 田	〃	〃	16,500
西 沖	朝 熊 町	朝 熊 町 自 治 会	16,500
保 田	〃	〃	16,500
立 岩	〃	〃	14,600
貝 楠 部	〃	〃	16,500
亀 ケ 森	〃	〃	14,600
橋 第 二	〃	〃	14,600
橋	〃	〃	16,500
浜 田	〃	〃	16,500
子 良 江 古	〃	〃	16,500
雨 渕 川	上 野 町	上 野 町 自 治 会	16,500
西	二 見 町 西	西 区	14,450
計	42樋門	—	703,050

(3) 樋門小修繕

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
東 豊 浜 町 地 内	浜樋門修繕工事	梯子塗装 1基	円 50,760	28. 8.24	28. 9.12
磯 地 町 内	排水樋門修繕工事	樋門修繕工 4か所	669,600	29. 3. 1	29. 3.30
計	2件	—	720,360	—	—

8 陸こう門の管理

異常気象等による洪水防止のため、漁港区域及び海岸保全区域内に存在する陸こうの維持管理及び操作を次のとおり委託した。

(1) 県所管陸こう門操作業務委託

陸こう名	所在地	委託先	委託料
東大淀第1・2陸こう門	東大淀町	東大淀町会長	円 9,720

(2) 市所管陸こう門操作業務委託

陸こう名	所在地	委託先	委託料
西条第1～6陸こう門	東豊浜町	東豊浜町西条自治会長	円 29,160
村松第1～8陸こう門	村松町	村松町会長	38,880
有滝第1～6陸こう門	有滝町	有滝町会長	29,160
土路第1～5陸こう門	東豊浜町	土路区町会長	24,300
計	4件	—	121,500

9 排水機場維持管理

農業用だけでなく集落地域の雨水排水にも稼動している公共性の高い排水機場について、維持管理を土地改良区等へ委託または補助することにより、農地及び集落の排水体制を維持した。

(1) 市所管排水機場操作業務委託

排水機場名	所在地	委託先	管理委託料
野口排水機場	東大淀町	東大淀土地改良区	円 50,000

(2) 土地改良区所管排水機場維持管理費補助

排水機場名	交付先	市補助額
村松排水機場	村松土地改良区	円 1,595,809
有滝第二排水機場	伊勢北部土地改良区	718,852
野口排水機場ほか	東大淀土地改良区	79,609
豊浜第二排水機場	豊浜土地改良区	22,911
社護神排水機場	有滝土地改良区	341,043
計	5件	2,758,224

(3) 土地改良施設維持管理適正化事業

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
東豊浜町内 地	(注) 東豊浜第二排水機場実施設計書作成業務委託	設計業務 一式	円 540,000	28. 7.22	28. 11.21
楠部町内 地	(注) 楠部第二排水機場実施設計書作成業務委託	設計業務 一式	1,134,000	28. 7.22	28. 11.21
柏町内 地	(注) 柏排水機場実施設計書作成業務委託	設計業務 一式	1,274,400	28. 7.22	28. 11.21
計	3件	—	2,948,400	—	—

(注) 維持課へ他課依頼

イ 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
楠 部 町 地 内	(注) 楠部第二排水機場補修工事	主ポンプ用エンジン及び主ポンプの整備等 一式	円 13,131,720	28.11.25	29.2.28
柏 地 町 内	(注) 柏排水機場補修工事	主ポンプ用エンジン整備及び水中ポンプ取替え等 一式	16,883,640	28.11.25	29.3.15
東 豊 浜 町 地 内	(注) 東豊浜第二排水機場補修工事	エンジン分解整備及び補機整備等 一式	5,466,960	28.11.28	29.3.30
計	3件	—	35,482,320	—	—

(注) 維持課へ他課依頼

(4) 排水機場維持管理事業

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
鹿 海 町 地 内 ほか	(注1) 農業用排水機場ほか管理技術指導及び緊急対応業務委託	技術指導 一式 月次点検 一式 応急整備、簡易整備 一式 年次点検 一式 応急対応 一式	円 620,705 【契約額】 13,932,000 [湛水防除] 10,291,287 [排水路維持費] 3,020,008 [農林水産課] 620,705	28.4.1	29.3.31
東 大 淀 町 地 内 ほか	(注2) 新堀排水機場ほか実施設計書作成業務委託	設計業務 一式	648,000	28.7.12	28.9.1
計	2件	—	1,268,705	—	—

(注1) 維持課へ執行委任

(注2) 維持課へ他課依頼

※合計は、各行の最上段を合算

イ 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
有 滝 町 地 内	有滝第2排水機場電柱支線修繕工事	電柱支線修繕 一式	円 75,600	28.5.30	28.6.28

村松町 地内	村松排水機場除塵機修繕工 事	除塵機修繕 一式	円 1,296,000	28. 7. 5	28. 9. 12
朝熊町 地内	三津ポンプ場電気設備修繕 工事	電気設備修繕 一式	89,640	28. 9. 1	28. 9. 15
東大淀町 地内	(注1) 新堀排水機場修繕工事	燃料タンク修繕 一式 既設燃料タンク、 廃油処分 一式	2,052,000	28. 10. 28	29. 2. 28
有滝町 地内	(注1) 社護神排水機場修繕工事	除塵機修繕 一式	1,986,120	28. 10. 28	29. 2. 28
朝熊町 地内	二見町三津ポンプ場修繕工 事	揚水ポンプ交換 1基	2,214,000	29. 1. 6	29. 3. 10
竹ヶ鼻町 地内	(注1)(注2) 船倉排水機場修繕工事	真空ポンプ取替修 繕 一式	1,026,000	29. 2. 9	29. 5. 31
計	7件	—	8,739,360	—	—

(注1) 維持課へ他課依頼

(注2) 平成29年度へ繰越

○ 畜産関係

1 松阪食肉公社運営事業

食肉の安全を確保するため、三重県松阪食肉公社施設の維持管理対策に要する経費を、伊勢市を含む主要株主により支援を行った。

事業主体 三重県松阪食肉公社

補助金 3,386,000円

松阪食肉公社での年間屠殺頭数

年度	肉用牛	肉用豚
H26	7,279 (市内産：32) 頭	81,334 (市内産：907) 頭
H27	6,909 (市内産：39)	69,691 (市内産：846)
H28	6,955 (市内産：48)	65,484 (市内産：795)

※H26東京都中央卸売市場 食肉市場で、肉用牛204頭屠殺

※H27 // 肉用牛316頭屠殺

※H28 // 肉用牛266頭屠殺

2 松阪肉牛共進会

松阪牛生産区域内の市町及び生産者で組織する松阪肉牛協議会の運営を補助し、肉牛の質及び生産技術の向上を目的とした共進会の開催の支援を行った。

負担金 6,000円

○ 農業基盤整備関係

1 農道整備事業

農業用道路において、拡幅や未舗装部分を改良することにより適切な維持管理を行い、農業用車両の安全な通行を図った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
田尻町内 地	田尻町農道整備工事に伴う設計業務委託	設計業務 一式	円 1,080,000	28. 9. 8	29. 1. 31
〃	田尻町農道整備工事に伴う測量業務委託	測量業務 一式	3,022,920	28.10.14	29. 1. 31
計	2件	—	4,102,920	—	—

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
植山町内 地	植山町農道舗装工事	m 142.2	円 1,615,680	28.11.11	28.12.26
東豊浜町内 地	東豊浜町農道舗装工事	202.0	2,386,800	28.12. 2	29. 1. 30
西豊浜町内 地	西豊浜町農道舗装工事	175.8	3,673,080	29. 1. 6	29. 3. 15
有滝町内 地	有滝町農道整備工事	35.5	2,110,320	29. 1. 6	29. 3. 15
植山町内 地	植山町農道舗装（その2）工事	68.0	950,400	29. 2. 3	29. 2. 23
有滝町内 地	(注1) 有滝町ほか農道舗装工事	629.3	9,354,960	29. 3. 3	29. 6. 5
東大淀町内 地	(注1) 東大淀町農道舗装工事	841.3	9,979,200	29. 3. 3	29. 6. 15
有滝町内 地	(注2) 有滝町農道舗装工事	80.0	1,166,400	29. 3. 9	29. 4. 7
計	8件	—	31,236,840	—	—

(注1) 平成29年度へ一部繰越

(注2) 平成29年度へ繰越

(3) 補償関係

場所	件名	補償件数	補償項目	金額
有滝町内 地	有滝町農道整備工事に伴う支障物件移転補償	件 1	配電線路	円 54,000

2 農業用排水路整備事業

農業用排水路において、老朽化した排水路を改良することにより、排水機能の回復と環境整備を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
一色町内 地	一色町農業用排水施設清掃業務委託	浚渫工 420 m ³ 除草工 0.5 千m ² 舗装工 182 m ²	円 17,440,920	28. 8. 3	28.12.12

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
鹿海町内 地	鹿海町用排水路整備工事	m 52.4	円 7,142,040	28.12. 9	29. 3.15
通町内 地	通町排水路整備工事	249.5	13,700,880	28.12. 9	29. 3.24
二見町今一色町内 地	二見町今一色排水路整備工事	18.3	1,242,000	28.12.26	29. 3.15
円座町内ほか 地	円座町ほか排水路整備工事	117.5	4,121,280	29. 1. 6	29. 3.15
檜原町内 地	檜原町排水路整備工事	98.4	5,705,640	29. 1. 6	29. 3.15
計	5件	—	31,911,840	—	—

3 農村地域防災減災事業

農業用ため池等農業用施設の現状把握を行い、地震や豪雨による災害の影響の大きい施設の調査・点検、整備計画を作成することで、災害の防止や軽減を図り、災害に強い農村づくりを進めた。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
黒瀬町内 地	ため池整備実施計画書作成業務委託	実施計画書作成 一式	円 5,391,360	28. 6.24	28.12.15
〃	ため池整備実施計画書作成に伴う測量業務委託	測量業務 一式	1,121,040	28. 7. 5	28. 8.25
津村町内ほか 地	ため池耐震点検照査業務委託	点検照査 4か所	6,125,760	28.10.28	29. 3.15
佐八町内 地	ため池耐震点検地質調査業務委託	地質調査 1か所	2,026,080	28.11. 4	29. 1.10
〃	ため池耐ハザードマップ作成業務委託	ハザードマップ作成 1か所	756,000	28.11.25	29. 2.28
計	5件	—	15,420,240	—	—

(2) 県営事業負担金

事業名	工事概要	事業費	市負担
平成28年度 県営ため池等整備事業（農業用 河川工作物応急対策）	実施設計 一式	円 8,200,000	円 656,000

4 土地改良事業補助

農業経営の安定に資するため、土地改良事業を補助し、事業の円滑な推進及び農業農村の基盤整備を進めた。

(1) 県営事業負担金

事業名	工事概要	事業費	市負担
(注1) 平成27年度 県営かんがい排水事業 宮川4工区	用水路工 909m 測量設計 一式 用地補償 一式	円 834,000,000	円 118,557,752
(注1) 平成27年度 県営かんがい排水事業 有爾中・明星地区	測量設計 一式	19,000,000	10,640
(注1) 平成27年度 高度水利機能確保基盤整備事業 宮川左岸地区	用水路工 1,745m 測量設計 一式	198,000,000	9,414,564
(注1) 平成27年度 高度水利機能確保基盤整備事業 小俣地区	用水路工 4,269m 測量設計 一式	209,500,000	9,647,500
(注2) 平成28年度 県営かんがい排水事業 宮川4工区	用水路工 517m 測量設計 一式 用地補償 一式	433,000,000	63,856,612
(注2) 平成28年度 県営かんがい排水事業 有爾中・明星地区	用水路工 2,060m 測量設計 一式 用地補償 一式	150,000,000	84,000
(注2) 平成28年度 県営かんがい排水事業 田丸地区	用水路工 50m 測量設計 一式	15,000,000	1,082,250
(注2) 平成28年度 高度水利機能確保基盤整備事業 小俣地区	用水路工 2,100m 測量設計 一式 用地補償 一式	150,000,000	4,725,000
(注2) 平成28年度 高度水利機能確保基盤整備事業 宮川左岸地区	用水路工 1,800m 測量設計 一式 用地補償 一式	480,000,000	22,340,382

(注2) 平成28年度 農業用施設アスベスト対策事業 城田・下外城田地区	用水路工 4,700m 測量設計 一式	円 268,000,000	円 5,340,552
計	10件	2,756,500,000	235,059,252

(注1) 平成27年度から一部繰越

(注2) 平成29年度へ一部繰越

(2) 補助金

土地改良区等が実施した事業に対して市の基準による補助金を交付した。

(「事業名」に(注)印のある事業の「市補助額」は償還金に対する補助金額)

補助金支出先	施年 行 度	事業名	事業概要	市補助額
上野町自治会	28	上野町農業用揚水ポンプ補修	用水施設補修	円 58,000
伊勢北部 土地改良区	8~15	(注) 県営ほ場整備事業 (伊勢北部地区)	区画整理工事	7,530,187
豊浜 土地改良区	7~11	(注) 団体営土地改良総合 整備事業(豊浜・森・ 小川地区)	用水施設整備他	15,468,269
〃	13~15	(注) 基盤整備促進事業(大 方後地区)	用水路工事他	886,730
宮川用水 土地改良区	28	土地改良施設維持管理 適正化事業	用水施設補修	2,684,600
〃	28	農業基盤整備促進事業	〃	450,000
〃	28	県単予防保全調査・補 修事業	〃	3,850,000
〃	28	県単基幹水利施設緊急 調査・補修事業	〃	1,050,000
宮川左岸第二 土地改良区	28	土地改良施設維持管理 適正化事業	排水路整備補修	324,000
五十鈴川用水 土地改良区	28	頭首工維持管理費 木出頭首工	電気料金ほか	368,246
小俣町 土地改良区	28	農業用用水路施設整備 工事	用水路補修	356,400
小川区自治会 農事部	28	焼野ポンプ漏水補修	用水施設補修	71,000
村松 土地改良区	28	村松町地内農道舗装工 事	農道整備	691,200
計	13件	—	—	33,788,632

○ 林業関係

1 環境保全林整備事業

環境保全林の持つ機能の維持向上を図るため、三郷山及び横輪町伊勢市有林について、年次計画により間伐整備を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
辻久留町 地内ほか	三郷山間伐業務委託	間伐業務 0.95ha	円 615,600	28.12.1	29.3.3
横輪町 地内	横輪環境保全林間伐業務委託	間伐業務 0.89ha	455,760	28.12.22	29.3.15
計	2件	—	1,071,360	—	—

2 環境保全林管理経費

市民の憩いの場である三郷山・音無山・横輪町宮山・絆の森において、清掃、草刈り等を実施し、保全林の環境維持等に努めた。また、横輪町伊勢市有林を適正に管理する必要があることから、枝打ち・除草作業等を委託業務により実施した。更に、音無山に設置されている消火器の交換及び点検を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
横輪町 地内	横輪環境保全林管理業務委託	管理業務 13,800 m ²	円 900,000	28.4.1	29.3.15
朝熊町 地内	絆の森管理業務委託	管理業務 一式	300,000	28.4.1	29.3.17
浦口町 地内ほか	三郷山清掃業務委託	清掃 年15回	300,000	28.4.1	29.3.29
二見町茶屋 地内ほか	音無山管理業務委託	管理業務 一式	468,917	28.4.1	29.3.29
浦口町 地内ほか	三郷山草刈等(その1)業務委託	草刈りほか 24,700 m ²	790,000	28.5.26	28.7.15
浦口町 地内	三郷山給水施設衛生管理業務委託	給水施設清掃・点検 一式	29,970	28.7.1	28.7.27
浦口町 地内ほか	三郷山草刈等(その2)業務委託	草刈り 18,400 m ²	496,800	28.11.18	28.12.15
横輪町 地内	横輪環境保全林用地測量業務委託	用地測量 6.4ha	9,184,320	28.12.9	29.3.15
辻久留町 地内	三郷山草刈等(その3)業務委託	草刈、樹木伐採 一式	89,640	29.1.16	29.2.24
計	9件	—	12,559,647	—	—

(2) 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
二見町茶屋地内	音無山防護柵修繕工事	防護柵修繕 一式	円 58,320	28. 6. 15	28. 6. 28
東大淀町地内	東大淀松林整備工事	松林整備 551.7m ²	291,600	28. 11. 21	28. 12. 20
二見町茶屋地内	音無山照明分電盤修繕工事	照明分電盤修繕 一式	145,800	28. 12. 22	29. 1. 20
〃	音無山土砂等撤去工事	土砂等撤去 一式	43,200	28. 12. 27	29. 1. 27
二見町茶屋地内ほか	音無山消火器・ボックス取替等工事	消火器取替 一式	85,320	29. 2. 9	29. 3. 1
二俣町地内	三郷山駐車場区画線復旧工事	駐車場区画線復旧 一式	97,200	29. 2. 20	29. 3. 10
	6件	—	721,440	—	—

3 林業振興事業

大雨等により道路法面が崩れ通行に支障をきたしているため、必要な工事を施し、林道の機能回復を図った。

(1) 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
横輪町地内	馬坂林道ほか修繕工事	林道修繕 一式	円 388,800	28. 12. 13	29. 1. 19

4 森林病虫害防除事業

海岸防風林等の松林において、松くい虫防除事業を施行し、松林のもつ公益的機能の低下防止及び景観の保全を図った。

(1) 委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
二見町西地内ほか	松くい虫防除（地上散布）業務委託	薬剤散布 6.25ha	円 622,080	28. 5. 25	28. 7. 19
村松町地内ほか	村松松林ほか下刈業務委託	下刈り 1.5ha	260,000	28. 7. 19	28. 10. 5
二見町西地内ほか	二見保安林下刈業務委託	下刈り 2.4ha	1,246,320	28. 8. 3	28. 10. 21
村松町地内ほか	松くい虫防除（伐倒破碎）業務委託	枯松伐倒駆除 36.4 m ³	1,378,080	28. 12. 28	29. 3. 15
計	4件	—	3,506,480	—	—

5 森林環境創造事業

音無山を環境林として適正に管理するため、20年間の環境林整備計画を作成し、それに基づき下刈り、受光伐等を行うものであり、平成14年度からいせしま森林組合に委託している。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町江地内ほか	音無山施設管理業務委託	下刈り 遊歩道草刈り 2.06ha	円 658,800	28.11.21	29.1.20

6 獣害防止事業

(1) 有害鳥獣駆除

農林作物等に被害を与える有害鳥獣を駆除するため、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、捕獲許可事務を行った。

許可件数	延べ人員	総捕獲数
58件	313人	イノシシ523、シカ266、サル40、イタチ26、タヌキ1、アライグマ4、カラス6、ドバト2

(2) 獣害防止事業

(1)のうち、伊勢市鳥獣被害防止対策協議会との連携を図り、狩猟期間外の捕獲を伊勢地区猟友会に委託し、農林作物及び生活環境等の被害軽減に努めた。

平成28年度捕獲実績		
イノシシ：456	シカ：260	サル：32 頭

緊急捕獲的措置 アライグマ1匹 5,000円

事業費 5,853,000円 (伊勢市鳥獣被害防止対策協議会：4,067,000円、市：1,786,000円)

(3) 伊勢市鳥獣被害防止対策協議会

増加傾向にある野生鳥獣による農作物等被害防止を目的に、平成20年11月に設立された伊勢市鳥獣被害防止対策協議会において、関係機関と一体となって協議会一般事業、鳥獣被害防止総合対策事業、地域捕獲力強化促進事業、集落ぐるみで取り組むニホンザル等対策支援事業、条件不利地における獣害防除支援事業に取り組んだ。

事業名	金額	概要
協議会一般事業	円 1,473,318	原材料支給等
鳥獣被害防止総合対策推進事業	176,040	大型捕獲檻1基、サル群受信機、サル群発信機等
鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業	4,067,000	獣害防止事業
集落ぐるみで取り組むニホンザル等対策支援事業	780,000	追払い用煙火2,000本

地域捕獲力強化促進事業	円 114,186	捕獲檻用エサ等
条件不利地における獣害防除支援事業	322,110	防護柵整備1地区 216m
計	6,932,654	

事業費 6,932,654円（県：4,924,130円（うち国：4,243,040円を含む）市：2,008,524円）

7 鳥獣保護法関連事業

(1) 鳥獣飼養許可

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、メジロの飼養許可事務を適正に実施した。

交付件数 2件

手数料 6,800円（@3,400円×2件）

8 みえ森と緑の県民税市町交付金事業

みえ森と緑の県民税交付金を活用した施策として、土砂や流木を出さない森林づくり・暮らしに身近な森林づくり・森を育む人づくり・木の薫る空間づくり・地域の身近な水や緑の環境づくりがあり、年次計画を基に森林整備や県産材の活用を目指す。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
村松町 地内ほか	松くい虫防除（樹幹注入）業務委託	薬剤樹幹注入 一式	円 1,107,000	28.12.28	29.2.20

(2) 基金

根拠法令	積立（取崩）金額（注）
伊勢森林づくり基金条例	円 △556,000

（注）金額がマイナスの場合は取崩額

○ 水産振興関係

1 漁業の実態

市内には海面の漁協として、伊勢市から明和町を範囲とする伊勢湾漁業協同組合があり、内水面には宮川漁業協同組合がある。

伊勢市の海面漁業形態は、主にアサリ採貝漁業、のり養殖業、小型機船底曳網漁業で、その他には刺網漁業等が営まれている。

組合員数は下記のとおりで、生産状況は貝類（アサリ等）が54t、魚類等が139t、くろのりは2,848万枚となっている。

(1) 組合員数

区 分	漁 協 名		平成 28 年度			平成 27 年度		
			正組合員	准組合員	計	正組合員	准組合員	計
海 面	伊勢湾漁業協同組合 (伊勢市管内分)	東大淀	人 1	人 78	人 79	人 2	人 85	人 87
		村 松	15	87	102	21	82	103
		有 滝	13	90	103	15	90	105
		東豊浜	10	179	189	13	182	195
		大 湊	4	24	28	0	28	28
		一 色	0	49	49	4	47	51
		神 社	0	14	14	0	14	14
		今一色	48	24	72	49	25	74
		江	1	12	13	2	14	16
		松 下	4	51	55	4	54	58
		合 計	96	608	704	110	621	731
内水面	宮川漁協(注)		789	813	1,602	791	871	1,662
	内伊勢市管内		209	143	352	213	156	369

(注) 宮川漁協は各年度 12 月 31 日現在

(各年度 4 月 1 日現在)

(2) 漁業生産状況

種 類	平成 28 年度	平成 27 年度
魚 類	kg 116,760	kg 129,900
水産動物類	22,456	29,028
ア サ リ	10,752	56,767
その他の貝類	42,876	40,355
あおのり	千枚 3,993	千枚 3,459
くろのり	28,480	23,076

(3) 漁船数

地 区 名	3 t 未満	3 t 以上 5 t 未満	5 t 以上 10 t 未満	10 t 以上	計
東大淀	隻 30	隻 0	隻 0	隻 0	隻 30
村 松	35	2	3	0	40
有 滝	39	1	11	0	51
東豊浜	44	5	3	0	52
大 湊	21	1	0	0	22
一 色	8	2	1	0	11
神 社	1	0	0	0	1
今一色	148	4	1	1	154
江	18	0	0	0	18

松 下	隻 19	隻 0	隻 0	隻 0	隻 19
計	363	15	19	1	398

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

(4) 漁業就業者の年齢構成

区 分	男	女	計
20 歳未満	0 人	0 人	0 人
20～30 未満	1	0	1
30～40 未満	3	0	3
40～50 未満	6	1	7
50～60 未満	15	17	32
60～70 未満	35	26	61
70 歳以上	93	56	149
計	153	100	253
平均年齢 (歳)	72.1	71.0	71.5

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

2 水産振興事業

(1) 各種補助金事業

事業名	事業主体	事業量	事業費	市補助金 (交付決定額)	成 果
アサリ養殖 振興事業	伊勢湾漁業 協同組合	二見町今一色地先 にアサリ・ハマグリ 種苗を放流 アサリ 8 t	円 1,954,896	円 586,400	アサリ・ハマグリ資源 の増大と漁家経営 の安定、アサリの 水質浄化作用による 環境保全を図る。
種苗 (クル マエビ等) 育成事業	伊勢湾漁業 協同組合	クルマエビ 1,000 千尾 クロダイ 6,250 尾 ナマコ 10,000 尾 各種苗を松阪市東 黒部町地先～二見 町地先に放流	1,722,500	195,000	クルマエビ (中間育 成後)、クロダイ・ ナマコの種苗を放 流し、資源の増大と 漁家経営の安定を 図る。
稚鮎等放流 事業	宮川漁業 協同組合	(放流事業) アユ 3,000 kg ウナギ 40 kg アマゴ 70 kg 各種苗	10,000,000	600,000	宮川流域のアユ・ウ ナギ・アマゴの資源 増大と生産の向上 を図る。

水産物移動販売車導入事業	伊勢湾漁業協同組合	水産物移動販売車 2t 1台 サンボックス他	円 7,500,000	円 5,000,000 ※うち 2,500,000円 は県補助金	伊勢湾漁業協同組合(伊勢市)と三重外湾漁業協同組合本所錦事業所(大紀町)が連携し、漁業収入の増加、地元水産物の普及を図る。
計	4件	—	21,177,396	6,381,400	—

(2) 水産教室実施事業

水産業を将来就く職業の一つとして考えてもらうために、市立東大淀小学校5年生(22名)、宮山小学校5年生(42名)、佐八小学校5年生(13名)、早修小学校5年生(14名)に対して、漁業に関する講習を行い、体験実習・施設見学をしてもらうことで、漁村・漁業への興味の高揚を図った。

実施場所	内 容	事業費	開催日
各小学校 二見町今一色地内	・講習 「伊勢市の漁業の概要」「のり養殖業」	円 106,048	29. 1. 18
	・体験実習 「のりすき体験」		29. 1. 19
	・施設見学 「のり加工施設」「のり検査倉庫」		29. 2. 2
			29. 2. 3

(3) 干潟保全活動支援事業

水産資源の保護・培養のほか、水質浄化等の役割を持つ干潟は、公益的機能を持つ重要な資源であるが、近年、海洋環境の悪化等により機能が低下しているため、地区漁業者が中心となる活動組織が干潟等保全活動を行い、干潟等機能の回復と漁場環境の改善を図った。

実施主体	実施場所	内 容	市負担金	備 考
伊勢干潟保全会	二見町今一色地先干潟	耕うん、保護区域の設定、稚貝等の沈着促進、浮遊・堆積物の除去、モニタリング など	円 312,000 ※1(2,080,000)	平成28～32年度までの5か年の活動
村松浅場保全会	村松町地先浅場	稚貝等の沈着促進、機能発揮のための生物移植、モニタリング	215,000 ※1(1,430,986)	平成28～32年度までの5か年の活動
豊北干潟保全会	東豊浜町地先干潟	稚貝等の沈着促進	16,000 ※1(104,028)	平成28年度活動
計	3件	—	543,000 ※1(3,615,014)	—

※1 補助対象事業費(国70%、県15%、市町15%)

(4) 漁業近代化資金利子補給補助金

東日本大震災で甚大な被害を受けた漁業者の漁業近代化資金災害資金借りに生じる利子を補給し、利子負担の軽減と漁業経営の再生を図った。

資金名	件数	借入残高	利子補給額	備考
漁業近代化資金（災害資金）	9件	13,261,315円	99,459円	年0.75%の利子を補給

（５）栽培漁業の指導・推進

伊勢湾漁業協同組合が取組むクルマエビ、クロダイ、ナマコの種苗放流について、放流適地・放流方法について指導した。

なお、平成17年度に完成した伊勢湾南部中間育成施設（県営）でのクルマエビの中間育成が実施され、放流サイズが大きくなり、生残率も向上している。

（６）アサリ勉強会

伊勢市の漁業の中心であるアサリ採貝漁業は、昭和60年頃をピークに経営体数、漁獲量がともに減少の一途をたどっており、その状況を打開するために、漁協・漁業者と協働で、平成21年2月に発足した「アサリ勉強会」や、漁連・漁協・漁業者・県等と連携する中で、平成22年3月に発足した「三重県あさり協議会」を通じて、資源確保や生産力向上のため、問題・課題の把握からその解決策の検討・実施に向けて取り組んでいる。

3 執行委任

（１）委託関係

所属	施行場所	委託名	委託概要	金額
維持課	伊勢市内 伊地	(注) アサリ稚貝放流業務委託	稚貝放流 一式	1,200,000円

(注)維持課から執行委任

○ 漁港管理関係

1 漁港の施設

漁港名	種別	外郭施設		係留施設	
		28年度末 現在	27年度末 現在	28年度末 現在	27年度末 現在
村松	第1種	m 1,403	m 1,403	m 487	m 487
江	第1種	1,564	1,564	261	261
松下	第1種	503	503	101	101
豊北	第2種	5,868	5,868	1,825	1,825
計	—	9,338	9,338	2,674	2,674

2 漁港・海岸維持管理事業

伊勢市が管理する施設の修繕・清掃及び点検業務を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
東豊浜町 地先	豊北漁港標識灯保守 点検業務委託	標識灯点検 3基	円 98,280	28. 9. 13	28. 10. 21
有滝町 地内ほか	伊勢市漁港海岸環境 整備業務委託	清掃業務 一式	193,320	28. 10. 3	29. 2. 22
東豊浜町 地内ほか	豊北漁港草刈等業務 委託	草刈り 13,000m ²	490,000	28. 11. 15	29. 2. 17
有滝町 地内	豊北漁港管理道路清 掃業務委託	道路清掃 一式	99,360	29. 3. 6	29. 3. 24
計	4件	—	880,960	—	—

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
有滝町 地内	豊北漁港有滝照明灯 修繕工事	照明灯修繕 1基	円 25,380	28. 4. 25	28. 5. 17
〃	豊北漁港有滝物揚場 舗装工事	舗装工 10.8m ²	75,600	28. 5. 6	28. 5. 11
〃	豊北漁港係船環修繕 工事	係船環修繕 8個	572,400	28. 5. 12	28. 5. 19
二見町江 地内	江漁港看板設置工事	看板設置工 1か所	75,600	28. 6. 20	28. 7. 26
東豊浜町 地内	豊北漁港土路排水路 修繕工事	排水路工 43.8m 舗装工 21.4m ²	1,715,040	28. 6. 24	28. 8. 1
二見町松 地下内	松下漁港照明灯修繕 工事	照明灯修繕 1基	17,280	28. 8. 15	28. 8. 24
東豊浜町 地内	豊北漁港土路照明灯 修繕工事	照明灯修繕 1基	70,200	28. 8. 22	28. 8. 29
〃	豊北漁港土路護岸修 繕工事	護岸修繕工 20m	972,000	28. 11. 16	29. 1. 6
有滝町 地内	豊北漁港有滝照明灯 修繕(その2)工事	照明灯修繕 3基	496,800	29. 1. 31	29. 3. 1
〃	豊北漁港有滝物揚場 修繕工事	クラック補修 一式	74,520	29. 2. 22	29. 3. 2
東豊浜町 地内	豊北漁港土路照明灯 修繕(その2)工事	照明灯修繕 2基	32,400	29. 3. 1	29. 3. 13
有滝町 地内	豊北漁港物揚場用地 舗装工事	舗装工 一式	99,360	29. 3. 3	29. 3. 10

東豊浜町 地内	豊北漁港西条護岸(A) 修繕工事	クラック補修 一式	円 98,280	29. 3. 6	29. 3. 16
有滝町 地内	豊北漁港有滝物揚場 修繕(その2)工事	物揚場修繕工 一式	124,200	29. 3. 16	29. 3. 31
計	14件	—	4,449,060	—	—

3 水産物供給基盤保全事業

漁港施設の経年による老朽化が著しいことから、保全計画を策定した。

また、保全計画書の老朽化機能診断に基づいて、保全工事を行い、効果的・効率的な施設の改良・更新による施設の長寿命化を図った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町江 地内ほか	江漁港機能保全計画 書作成業務委託	計画書作成 一式	円 7,054,560	28. 9. 9	29. 2. 17
二見町松下 地内	松下漁港-1.5m物揚場 測量業務委託	測量業務 一式	853,200	28. 11. 10	29. 1. 5
〃	松下漁港-1.5m物揚場 設計業務委託	設計業務 一式	4,038,120	28. 12. 26	29. 3. 15
計	3件	—	11,945,880	—	—

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
有滝町先 地	豊北漁港有滝物揚場保 全工事	浮棧橋設置 90.0m	円 38,970,720	28. 8. 12	29. 3. 3
有滝町内 地	豊北漁港有滝物揚場保 全(その2)工事	浮体取壊工 9函	7,021,080	28. 10. 28	29. 1. 10
〃	豊北漁港有滝物揚場係 留装置改良工事	係留装置改良 3基	1,026,000	28. 11. 21	28. 12. 20
有滝町先 地	豊北漁港有滝物揚場浮 棧橋改良工事	浮棧橋改良 一式	810,000	29. 1. 30	29. 3. 3
二見町松下 地先	(注) 松下漁港浚渫工事	漁港浚渫 6,168m ²	52,643,520	29. 3. 17	29. 9. 12
計	5件	—	100,471,320	—	—

(注)平成 29 年度へ一部繰越

4 漁港区域内樋門管理経費

漁港区域内の樋門、陸こう門を適正に管理し背後地の安全を図った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
村松町 地内	村松漁港亀池樋門調査 業務委託	樋門調査 一式	円 99,360	28.11.7	28.12.16

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
村松町 地内	村松漁港亀池樋門修繕 工事	樋門修繕 1か所	円 962,280	29.2.9	29.3.27

○ 災害復旧事業

1 農地・農業用施設災害復旧事業

平成27年9月8日～9日に発生した台風18号の豪雨により、排水機場が浸水したため、主エンジン等の分解整備、補機ポンプ類電動機等の取替を行い、排水機場の機能回復を図った。

(1) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
楠部町 地内	(注1)(注2) 楠部東排水機場災害復 旧工事	主エンジン分解整備 一式 補機ポンプ類電動機等 取替 一式 非常用発電機分解整備 一式 電気設備配線取替 一式 自家発用エンジン燃料 噴射ポンプ取替 一式 空気槽逆止弁取替 一式	円 21,566,520	28.2.5	28.6.10

(注1) 維持課施行

(注2) 平成27年度から繰越

○ 他課関係依頼

他課から依頼があった次の業務について、その設計及び監督を行った。

1 工事関係

所 属	施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額
観 光 振 興 課	中 島 2 丁 目 地 内 ほ か	第64回伊勢神宮奉納全国 花火大会施設工事	準備工 一式 放場施設工 一式 栈敷工 一式 会場周辺安全施設工 一式 場内施設工 一式 付帯工 一式	円 28,263,600
	”	第64回伊勢神宮奉納全国 花火大会電気工事	電灯施設 一式 仮設工事 一式	3,672,000
	吹 上 1 丁 目 地 内 ほ か	伊勢市駅前広場ほかイル ミネーション設置工事	イルミネーション設置 2か所	972,000
	本 町 地 内 ほ か	誘導標識設置(その2)工 事	誘導標識設置工 5か所	1,188,000
	宇 治 浦 田 1 丁 目 地 内	誘導標識設置(その3)工 事	誘導標識設置工 2か所	1,252,800
計	5件	—	—	35,348,400

観 光 振 興 課

○ 企画推進事業

1 伊勢志摩サミット推進事業

(1) 「伊勢っ子」と伊勢音頭保存会による伊勢音頭披露

国主催のG7伊勢志摩サミット配偶者プログラムに対し、本市が提案した子どもたちによる伊勢音頭披露が採択された。披露する子どもたちは、当課事業『「伊勢っ子」育て事業』の平成27年度参加児童から有志を募った。伊勢音頭保存会の協力のもと練習を重ね、ミキモト真珠島で行われたプログラムにおいて、23名の「伊勢っ子」がG7首脳の前で伊勢音頭を披露した。

○ 地方創生加速化交付金事業

1 DMO構築支援事業

地域の資源を最大限に活用し、着地側から新たな観光事業を展開するために、日本版DMO組織の構築支援を行った。

日本版DMO組織の構築は、伊勢まちづくり（株）と伊勢市、（公社）伊勢市観光協会が主体となって進めており、伊勢まちづくり（株）が代表で観光庁へ日本版DMO候補法人登録の申請を行った。

申請日：平成28年8月10日

登録日：平成28年8月31日

また、平成28年7月1日付けで伊勢まちづくり（株）と「伊勢市における地域DMOの構築及び運営等に関する協定書」を締結し、これに基づき、体験型旅行商品の企画、造成、販売促進、市場調査等を実施するための支援を行った。

(注) DMOとは

D＝ディスティネーション（行き先、目的地）

M＝マーケティング（リサーチ、データ分析）／マネジメント（管理）

O＝オーガナイゼーション（組織）の略。

「日本版DMO」とは、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役となる組織を指す。多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備える。

○ 観光施設管理運営事業

1 海水浴場管理運営事業

(1) 海水浴場の運営

明治 15 年に「日本第一号の公設海水浴場」として始まった二見浦海水浴場を、平成 28 年 7 月 9 日～8 月 28 日までの期間、開設した。（開設日数は 50 日。天候不良により 1 日閉鎖）

海水浴場の管理運営については（公社）伊勢市観光協会へ委託し、駐車場管理・監視・巡視・救護等を行った。

また、海水浴場開設前には、二見町旅館組合等の観光関係団体、小中学校、地域住民のご協力により行った海岸清掃に参画した。

海水浴客数（延べ）：8,540 人

駐車台数：1,137 台（普通車 1,127 台、二輪車 10 台）

委託先：（公社）伊勢市観光協会

委託期間：平成 28 年 5 月 27 日～平成 28 年 9 月 16 日

委託金額：3,845,556 円

（2）海水浴場の環境整備

当課管理地の二見浦海水浴場松林内にある設備の経年劣化が著しかったことから、利用者の安全性を考え、防護柵の一部撤去及び井戸の埋め戻し工事を行った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
二見町荘 地 内	二見浦海水浴場松林 防護柵撤去工事	防護柵撤去工 一式	円 399,600	28. 6. 15	28. 6. 24
〃	二見浦海水浴場井戸 処理工事	井戸埋戻し工 一式	64,800	28. 12. 13	28. 12. 22
計	2 件	—	464,400	—	—

○ もてなし心醸成事業

1 バリアフリー観光向上事業

日本全体が高齢化し、人口が減少していく中、高齢者や障がいを持つ方に観光旅行を楽しんでいただき、国内からの旅行者数を増加させることを目的に、平成 23 年度から受け入れ力強化のための取り組みを行っている。

（1）伊勢おもてなしヘルパー事業負担金

伊勢神宮内宮の参拝時の移動に不安、不自由のある方が安心して参拝できる体制を整えるため、平成 27 年 5 月に「伊勢おもてなしヘルパー推進会議」を設立した。構成団体（注）にて協議を重ね、事業実施に必要となるヘルパーの募集や養成講習、事業 P R を行い、平成 29 年 2 月にサービス提供を開始した。

（注）構成団体：（公社）伊勢市観光協会、伊勢商工会議所、皇學館大学、伊勢おはらい町会議、N P O 法人伊勢志摩バリアフリースターセンター、伊勢市（順不同）

(2) バリアフリー観光情報発信事業負担金

障がいといってもその状態は様々で、その人の身体の状態によってバリアとなる場所や項目は異なる。障がいのある観光客の方に町歩きを楽しんでいただけるよう、平成 26 年度に作成したウェブサイト「伊勢バリアフリー・マイマップ」の店舗情報の更新と、新規店舗の追加を行った。また、快適に伊勢市内のバリアフリー情報を得られるよう、NPO 法人伊勢志摩バリアフリースターセンターと協働でウェブ環境の整備等を行った。

(3) 手話ガイド団体との連携

高齢・障がい福祉課と共同で支援している「いせてらす手話ガイド」について、これまで手話での観光案内を行うための仕組みを検討していた中、平成 28 年度は伊勢市社会福祉協議会を窓口
に伊勢神宮外宮での観光案内希望者を募り、手話での観光案内を実施した。

実施日：平成 28 年 12 月 9 日

参加者：29 名

手話案内者：16 名

2 おもてなし推進事業

(1) 「伊勢っ子」育て事業

観光客とのふれあいを通じ子どもたちに伊勢の魅力を知ってもらうことを目的に、平成 27 年度から開始した。公募により集まった市内小学校 5、6 年生の伊勢っ子 21 名が、外宮周辺、内宮宮周辺、二見の 3 か所で観光客のお出迎え活動を行った。事業実施にあたっては、皇學館大学の学生ボランティアと地域のまちづくり団体等にご協力いただいた。

内 容	開 催 日	開 催 場 所	参加児童数
プレイベント（練習会）	28. 7. 24	伊勢市役所	人 13
第1回お出迎え活動	28. 8. 12	外宮前バス停横広場	17
第2回お出迎え活動	28. 10. 23	伊勢シティプラザ・外宮参道	20
第3回お出迎え活動	29. 2. 12	伊勢神宮内宮宇治橋前	19
第4回お出迎え活動 卒業イベント	29. 3. 18	二見興玉神社第一鳥居前 賓日館	17

(2) 案内サイン整備事業

観光客が散策、周遊等をしやすい環境の整備及び案内標識等の適正な管理を行うため、案内標識等の整備及び撤去を行った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
二見町江 地 内	道路標識撤去工事	道路標識撤去工 1か所	円 95,040	28. 4. 15	28. 4. 15

吹上1丁目 地内	案内標識撤去工事	案内標識撤去工 1か所	円 21,600	28. 4. 19	28. 4. 19
〃	案内標識設置工事	案内標識設置工 1か所	51,840	28. 5. 9	28. 6. 30
岩渕2丁目 地内ほか	案内標識設置(その2)工事	案内標識設置工 2か所	95,040	28. 6. 10	28. 8. 1
宮後1丁目 地内ほか	誘導標識設置工事	誘導標識設置工 2か所	81,000	28. 7. 25	28. 8. 31
岩渕1丁目 地内	案内標識設置(その3)工事	案内標識設置工 1か所	99,360	28. 12. 13	29. 2. 1
本町 地内ほか	(注1)(注2) 誘導標識設置(その2)工事	誘導標識設置工 5か所	1,188,000	29. 2. 2	29. 2. 28
宇治浦田 1丁目地内	(注1)(注2) 誘導標識設置(その3)工事	誘導標識設置工 2か所	1,252,800	29. 2. 10	29. 3. 10
計	8件	—	2,884,680	—	—

(注1) 農林水産課施行

(注2) JNTO外国人観光案内所認定の要件である外国語表示の観光案内所への誘導看板を設置

(3) 伊勢市観光協会協働事業

(公社) 伊勢市観光協会と協働で以下の事業を実施した。

ア 伊勢の食文化調査・研究・開発事業

伊勢市及びその周辺の食文化の調査・研究・開発を行い、食の観光マップの新規作成と増刷を実施した。

新規作成マップ：宵まち・みつだんご・餅街道

平成28年度実績：計12種類

イ フォトサイクル事業

エコツーリズムへの意識向上、市内既存観光スポットの魅力再発見、レンタサイクルの利用促進、滞在時間の延長による宿泊の増加を目的にイベント等を実施した。

サイクルイベント：「伊勢MYりんに乗って撮って 其の式」

開催日時：平成28年10月2日(日) (9月18日(日)から雨天にて延期)

参加者数：42名

ウ マスコットキャラ事業

(公社) 伊勢市観光協会のマスコットキャラクター「伊勢まいりんくん」の着ぐるみを用いて、伊勢をPRするイベント等に参加し、幅広い客層に対するPR活動を実施した。

エ 観光振興研修事業

(公社)伊勢市観光協会、伊勢商工会議所と協働で、観光の現場で活躍する方々を対象に研修会を開催した。

開催日	内 容	会 場	参加者
28. 6. 24	<ul style="list-style-type: none"> ・おもてなしとは？ ・クレーム対応の基本 ・怒りへの上手な付き合い方 	伊勢商工会議所	昼の部：47名 夜の部：54名
28. 12. 12	<ul style="list-style-type: none"> ・おもてなしの本質を知る ・おもてなし力の発揮 ・障害者差別解消法のポイント 	〃	昼の部：15名 夜の部：32名
29. 3. 30	<ul style="list-style-type: none"> ・第27回全国菓子大博覧会・三重の開催概要 ・障害者差別解消法の対応方法 ・日常のバリアフリー対応 	〃	45名

(4) 伊勢元気再生事業（外宮周辺魅力創出・発信事業、夜の魅力創出事業）

内宮周辺に集中している観光客を、外宮周辺の魅力創出と発信を行うことによって分散し、さらに市内周遊につなげることで、また、伊勢の夜の飲食店の魅力を高め発信することにより、滞在時間の延長及び伊勢への宿泊を促進し、観光消費額を向上させることを目的に、伊勢商工会議所と協働で各種事業を行った。

ア 外宮誘客事業

外宮誘導チラシを作成し、三重テラスや市内観光案内所等で配布を行った。

イ 外宮周辺資源活用事業

外宮周辺の魅力を紹介したまち歩きパンフレットを作成し、市内観光案内所・市内主要施設等で配布を行った。

ウ 朝市・参宮の木札事業の広報及び組織育成支援事業

市民ボランティアとの連携による参宮木札配布及びアンケート調査の実施や参画店舗に設置するポップの作成等、木札施行店舗の会の運営支援を行った。また、朝市の集合折込チラシ等への広告掲載を行った。

エ 泊食連携促進事業

(公社)伊勢市観光協会と連携し、宿泊施設近辺で晩御飯を食べられる飲食店情報を会員に限らず掲載した「晩ごはんMap」の情報を更新し、市内観光案内所、宿泊施設等で配布した。また、伊勢商工会議所のホームページ等への掲載も行った。

オ よいまちバル事業

外宮前バス停横広場から半径450mに立地する、通常夜間営業している洋食店やバー等の飲食店を参加対象店舗とし、スペインの立ち飲み食堂「バル」にヒントを得た立ち飲みイベント「YOIMACHI BAR(よいまちバル)」を実施した。

本事業は、伊勢商工会議所のほか、（公社）伊勢市観光協会とも連携している。
事業実施にあたっては、店舗への周遊を促す改善を行った。

開催日：平成28年8月26日（金）、27日（土）
平成28年10月1日（土）（9月30日（金）は雨天中止）
平成28年10月29日（土）（10月28日（金）は雨天中止）

3 案内ガイド連携事業

案内人の質の向上・情報共有・一体感の醸成を目的とした市内の観光案内ガイド団体の連絡協議会「伊勢たびナビの会」に事務局として参画し、運営を行った。平成28年度は、観光案内時の災害対応に関する研修会を開催したほか、平成27年度に作成した市内の周遊マップを増刷し市内観光案内所等で配布した。

4 災害に強い観光地づくり事業

災害時に、内宮エリアにおける来訪者及び住民等の早期安定を図るため、内宮エリア災害協力協議会と応急生活物資供給等の協力に関する協定の締結を行った。

協定締結日：平成28年5月10日

参画事業者数：40社

また、内宮エリアで実施された来訪者と住民等を対象とした避難訓練に協力し、観光地における避難について参加者と意見交換を行った。

5 外国人観光客受入強化事業

平成28年5月に伊勢志摩サミットが開催されたことにより、今後さらなる増加が予想される外国人観光客を受け入れるための環境整備等を行った。

（1）伊勢志摩サミットインフォメーションの設置への協力

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局開催支援課が伊勢市駅および宇治山田駅にインフォメーションセンターを設置するにあたり、運営に協力し、インフォメーションセンターへの誘導看板を設置した。

委託先：（株）アド近鉄伊勢支店

委託期間：平成28年4月28日～平成28年6月3日

委託金額：496,800円

（2）観光案内所の受け入れ体制強化

伊勢市駅・宇治山田駅・外宮前観光案内所に加え、宇治浦田観光案内所は外国人観光案内所（注）
カテゴリー2の、二見浦観光案内所はカテゴリー1の認定を取得し、外国人旅行者に対してこれまで以上に積極的な観光案内を行った。

（注）外国人観光案内所：JNTO（日本政府観光局）認定の外国人対応可能な観光案内所。

カテゴリー2は英語対応可能なスタッフが常駐し、広域の案内を提供できることが条件。

カテゴリー1は常駐でなくても何らかの方法で英語対応可能で、地域の案内を提供できることが条件。

<外国人観光案内所認定状況>

カテゴリー2：伊勢市駅、宇治山田駅、外宮前、宇治浦田観光案内所

カテゴリー1：二見浦観光案内所

(3) 観光事業者等アンケートの実施

伊勢志摩地域の観光事業者等を対象に、サミット後の外国人観光客の状況に関するアンケートを実施した。

アンケート実施期間：平成28年12月9日～平成28年12月16日

回答数：52施設（照会数 84施設）

(4) 外国人観光客実態調査の実施

伊勢を訪れた外国人観光客の実態を把握するため、外国人観光客を対象に、市内観光案内所及び宿泊施設で留置法のアンケート調査を開始した。

アンケート実施期間：平成28年12月～平成29年6月

(5) 多言語まちあるきマップの作成

外宮周辺、内宮周辺、二見周辺の3地域について、まちあるき用のマップを作成した。

<外宮周辺・内宮周辺>

委託先：NPO法人伊勢志摩バリアフリーツアーズセンター

委託期間：平成28年8月26日～平成29年3月27日

委託金額：2,234,628円

内訳：外宮参道 10,000部、内宮前おはらい町 10,000部

<二見周辺>

委託期間：平成28年9月29日～平成29年2月28日

委託金額：313,200円

内訳：日本語 10,000部、英語 10,000部

(6) 観光案内所・伊勢市駅手荷物預かり所への誘導看板の設置

観光客の情報収集拠点である観光案内所等への誘導看板を設置した。特に外国人観光客にも分かりやすくするため英語とピクトグラムを併記した。（案内サイン整備事業内で執行）

(7) インバウンドエリアマーケティング事業

今後の伊勢市のインバウンド施策の足掛かりとすることを目的として、外国人観光客の視点で伊勢の魅力や要改善点を調査するための準備を進めた。

委託先：(株)昭文社

委託期間：平成29年3月8日～平成29年10月31日

委託金額：3,822,660円【債務負担行為】

○ 観光一般事業

1 案内所管理運営経費

(1) 観光案内所及び伊勢市駅手荷物預かり所の運営

伊勢市駅、宇治山田駅、二見浦、外宮前、宇治浦田の各観光案内所及び伊勢市駅手荷物預かり所における運営管理業務を（公社）伊勢市観光協会に委託して実施した。

平成 28 年度は案内所間の連携を進め、よりスムーズな対応ができるよう体制を整えた。さらに、近隣市町の観光案内所職員と意見交換の場を設け、広域での連携ができるよう受入体制の強化を図った。

委託先：（公社）伊勢市観光協会

委託期間：平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

委託金額：35,376,694 円（内 案内所管理運営経費 23,991,951 円

外国人観光客受入強化事業 11,384,743 円）

<観光案内所の利用状況>

伊勢市駅観光案内所

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
窓口案内	6,339	5,728	5,582	8,545	11,788	9,401	9,330	9,040	6,565	8,083	6,418	9,561	96,380
うち外国人	515	409	428	463	480	378	526	390	329	291	201	385	4,795

宇治山田駅観光案内所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
窓口案内	1,877	1,899	1,860	2,768	2,994	2,472	2,562	2,538	2,231	2,703	1,777	2,540	28,221
うち外国人	98	83	82	98	108	89	59	72	86	41	25	50	891

二見浦観光案内所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
窓口案内	397	586	485	625	897	692	841	775	438	757	509	755	7,757
うち外国人	21	40	42	46	33	28	42	36	29	16	16	32	381

外宮前観光案内所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
窓口案内	4,791	5,132	4,568	6,096	7,712	5,815	7,342	6,382	6,051	7,856	6,060	7,809	75,614
うち外国人	168	132	135	158	159	150	186	153	122	95	87	131	1,676

宇治浦田観光案内所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
窓口案内	3,344	4,081	6,010	8,846	13,627	4,741	6,799	7,621	7,474	13,845	7,578	9,659	93,625
うち外国人	91	58	94	108	66	38	105	132	92	96	60	99	1,039

<伊勢市駅手荷物預かり所の取扱い個数>

単位：個

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
荷物預かり	1,223	2,483	1,141	1,817	3,590	3,714	3,531	3,735	1,560	1,879	1,913	3,638	30,224
宿泊施設配送	1,159	915	1,336	1,796	3,101	3,041	3,209	3,237	1,439	1,509	1,681	2,761	25,184
全国発送	31	55	43	50	46	39	40	55	39	34	32	62	526
計	2,413	3,453	2,520	3,663	6,737	6,794	6,780	7,027	3,038	3,422	3,626	6,461	55,934

(2) 清掃業務

観光案内所は観光客を最初に迎える場所であることから、美化に務めるため、年2回の定期清掃及びトイレの日次清掃（宇治浦田観光案内所と伊勢市駅手荷物預かり所）を行った。

委託期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

委託金額：3,218,400円

(3) デジタルサイネージ

市内観光案内所と伊勢市駅手荷物預かり所に設置しているデジタルサイネージを用いて、市内各所の観光案内を映像で発信した。なお、保守については業務委託を行った。

委託先：イー・ダブリュ・エス（株）

委託期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

委託金額：259,200円

(4) 車いすの貸出

伊勢市駅観光案内所と宇治浦田観光案内所で車いすの無料貸出を行った。

<車いす貸出の利用状況>

単位：台

	伊勢市駅観光案内所	宇治浦田観光案内所
保有台数	3	6
貸出合計台数	157	794

(5) レンタサイクル

外宮前観光案内所・宇治山田駅観光案内所・伊勢市駅手荷物預かり所で自転車の貸し出しを行った。

<自転車貸出の利用状況>

単位：台

	外宮前観光案内所	宇治山田駅観光案内所	伊勢市駅手荷物預かり所
保有台数	11	5	32
貸出合計台数	1,393	715	2,243

2 観光協会負担金

(公社)伊勢市観光協会は同業者組合の枠を超え、広く市内観光産業活性化のために活動して

いる。また、公益社団法人という位置づけから、公平性を保ちつつ行政より柔軟な動きが可能であるため、変化の激しい観光分野の事業実施に不可欠な存在となっている。そのため、当課では数年かけて支援の形を整理し、平成 27 年 4 月 1 日に(公社)伊勢市観光協会との覚書を改定した。平成 28 年度は覚書に基づき、財政基盤安定化を目的とする負担金は事務局人件費の 40%とし、市との協働事業は過去の経過と自主性を考慮して負担率を決定している。

3 その他事業

(1) 喫煙所清掃業務

伊勢志摩サミットの開催を契機に、おもてなしの一環として分煙環境を整備するため、宇治山田駅、伊勢市宮宇治駐車場に喫煙所の設置及びその後の管理を行った。なお、設置工事は日本たばこ産業(株)が行った。

ア 清掃業務委託(伊勢志摩サミット推進事業)

委託先：(公社)伊勢市シルバー人材センター

委託期間：平成 28 年 5 月 20 日～平成 28 年 6 月 19 日

委託金額：97,601 円

イ 清掃業務委託(観光一般事業)

委託先：(公社)伊勢市シルバー人材センター

委託期間：平成 28 年 6 月 20 日～平成 29 年 3 月 31 日

委託金額：832,485 円

(2) 伊勢市駅前等へのイルミネーションの設置

公共交通機関を利用して当市を訪れる観光客等の玄関口である JR 伊勢市駅前広場、近鉄宇治山田駅前広場に LED イルミネーション装飾を設置し、駅前の賑わいの創出、観光客受入のための光の演出を実施した。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
吹上1丁目 地内ほか	(注) 伊勢市駅前ほかイルミネーション設置工事	イルミネーション 設置 2 か所	円 972,000	28.11.4	29.2.10

(注) 農林水産課施行

(3) スポーツ関連行事もてなし事業

ア 秩父宮賜杯第 48 回全日本大学駅伝対校選手権大会への応援協力

熱田神宮西門前から伊勢神宮内宮宇治橋前の 8 区間 106.8km を結ぶ大会が、平成 28 年 11 月 6 日(日)に開催され、市内の太鼓団体が沿道で選手を歓迎応援するなど選手及び観客をもてなした。

イ 第 10 回美し国三重市町対抗駅伝への応援協力

県庁前から三重交通 G スポーツの杜伊勢までの 10 区間 41.695km を結ぶ大会が、平成 29

年2月19日（日）に開催され、市内沿道に歓迎・応援用のぼりを設置したほか、市内の太鼓団体と伊勢市女性団体連絡協議会が沿道で選手を歓迎応援するなど選手及び観客をもてなした。

○ 観光振興基本計画推進事業

平成25年度に策定した観光振興基本計画の推進・進行管理を図るため、当市を訪れる観光客の実態を把握、分析した。また、市内観光関連組織・団体等の代表者等からなる会議を開催し、計画の検証を行った。

(1) 伊勢市観光客実態調査

観光客の旅行目的、滞在種別（日帰り・宿泊）、来訪手段、旅行費用、満足度等、当市を訪れる観光客の行動実態を明らかにするため、観光庁が定める「観光入込客統計に関する共通基準」に沿った形で、伊勢を訪れている観光客を対象とした対面式の聞き取り調査を実施した。

また、本調査の結果から伊勢志摩サミットが伊勢市の観光に与えた影響の分析を行った。

調査地点：外宮周辺、内宮周辺、二見、河崎の市内観光地域4か所

調査実施日：平成28年3月12日（追加調査5月14日）

7月30日（追加調査8月27日）

10月22日

12月17日

委託期間：平成28年1月27日～平成29年3月24日

委託金額：3,996,000円

(2) 伊勢市観光振興基本計画に基づく観光振興のための意見交換会

伊勢市観光振興基本計画策定推進会議委員のうち、市内観光関連組織・団体等の代表者等、伊勢市内で広く観光全般に携わる方に参加を呼びかけ、意見交換会を開催した。意見交換会では、伊勢市や三重県による観光客実態調査や観光統計の分析結果等に基づき、伊勢市観光振興基本計画の検証を行った。また、現状の課題についても意識共有を図った。

(3) 研修の開催

市職員及び関連組織事務局職員等を対象に、統計から見た伊勢市の観光を取り巻く情勢及び地域活性化の取り組み先進地の事例研修を実施した。

開催日	内容	会場	参加者
29. 2. 16	観光視点での産業振興研修 ～組織を越えた連携による地域活性化～	伊勢市役所	30名

○ 旅客受入推進事業

1 旅客受入基盤整備事業

観光客の市内周遊性の向上、公共交通機関の利用促進を目的に、三重交通（株）と協働で市内観光周遊バス「参宮バス」（スカイラインルート）の運行を行った。

なお、平成 28 年度は他の交通手段もある外宮～夫婦岩ルートを廃止し、唯一の公共交通となっているスカイラインルートに注力した。また、参宮バスの利用促進を図るため、ポスターを作成し、市内観光案内所、観光施設、登山用品店、バス車内等へ掲示を行い、観光客へ周知を図った。

平成 28 年度の利用状況

<スカイラインルート>

単位：人

月	山上公苑発	近鉄五十鈴川駅発
4	198	79
5	271	119
6	112	69
7	188	109
8	133	88
9	176	84
10	274	142
11	195	107
12	165	97
1	344	157
2	127	68
3	163	89
計	2,346	1,208

2 内宮周辺トイレ整備事業

近年の伊勢市の公衆トイレを取り巻く環境の変化（参拝者数の増加や洋式便器の普及、高速道路SA等のトイレの美装化等）により、観光客や近隣店舗、関係団体等から内宮周辺の既存トイレに対し、「数が足りない」「汚い」「臭い」などの苦情や意見が寄せられている。そのため、平成 25 年度に実施した「伊勢市バリアフリー観光旅行調査」等の結果も踏まえ、伊勢市宮宇治駐車場周辺への公衆トイレ新設について、検討を開始した。

このことを受けて平成 28 年度は、設置場所や基数等の検討、関係各所との調整を行うと同時に、トイレ設備メーカーが実施する研修会や観光庁が実施する補助金説明会等に参加し情報収集を進めた。

平成 28 年度 参加研修会・説明会

開催日	内 容	主 催	会 場
28. 11. 22	観光地おもてなしトイレセミナー	TOTO（株）	TOTOテクニカルセンター大阪
29. 3. 13	訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業（消費拡大）補助制度説明会	観光庁 中部運輸局	中部運輸局

○ 旅客誘致受入宣伝事業

1 観光情報発信事業

(1) 電子クーポンシステムの導入及び運用支援

「伊勢市における地域DMOの構築及び運営等に関する協定書」に基づき実施する取り組みのうち、「商品企画・販売」を強化し、体験型旅行商品の造成・提供、継続的な商品展開を加速させることを目的として、電子クーポンシステムの導入及び運用に関する支援を行った。

(2) 研修の開催

市職員及び関連組織事務局職員等を対象に、観光視点での業務推進を学ぶ研修を開催した。

開催日	内容	会場	参加者
28. 4. 25	観光基礎講座 ～情報発信とDMO～	伊勢市役所	37名

2 広域連携事業

(1) 伊勢志摩国立公園の振興

(一財)伊勢志摩国立公園協会・伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会に参画し、広域での連携を図った。

また、平成28年度より国立公園関係都市に共通する諸問題の解決や、国立公園の整備促進に関する協議、国への要望等を行う国立公園関係都市協議会に加入した。

(2) 伊勢志摩国立公園ステップアッププログラム2020

平成28年7月に伊勢志摩国立公園を含む全国8つの国立公園が環境省の「国立公園満喫プロジェクト」における先導的モデルの一つに選ばれ、世界水準の「ナショナルパーク化」を目指すこととなった。それに伴い平成28年度以降伊勢志摩国立公園管内の景観・環境等の整備を実施していくため、環境省、三重県等とともに「伊勢志摩国立公園ステップアッププログラム2020」を平成28年12月に策定した。

3 スポーツ誘客推進事業

(1) 第46回全国自治体職員サッカー選手権大会

平成29年8月4日(金)から9日(水)に第46回全国自治体職員サッカー選手権大会が当市で行われるため、その準備として平成28年度開催市である鹿児島市を8月4日(木)から7日(日)にかけて視察した。現地では、審判員会議、代表者会議、開会式、歓迎会に参加するとともに、競技施設や運営等について、大会事務局へのヒアリングや開催に向けての視察を行った。

また、10月28日(金)には、全国自治体職員サッカー連盟事務局長、事務局次長、東海支部運営委員の方の視察を迎えた。伊勢市役所、伊勢フットボールヴィレッジ、三重県営サンアリーナ、伊勢夫婦岩ショッピングプラザを視察し、各会場の規模や設備等を確認した。その後のヒアリングでは準備状況を説明し、今後の準備、運営に対して協議を行った。

さらに、本大会の円滑な運営を図るため、実行委員会を設立し、12月19日(月)に設立総会及び第1回実行委員会を行った。

(2) 伊勢市集大会・スポーツ合宿誘致補助金

市内での集大会・スポーツ合宿等を誘致し経済効果を高めるため、市内宿泊者数に応じた補助金交付事業を実施した。

また、補助制度の周知を図るため、市ホームページで補助金制度のPR、市内スポーツ施設、宿泊施設へPRチラシを掲示したほか、チラシと伊勢市観光案内冊子を県内外の大学等へ送付した。

【大学等へのチラシ配布実績】

- ・平成26年度：271校（中部・近畿・四国・中国）
- ・平成27年度：大学生協（東海）
- ・平成28年度：281校（中部・近畿・四国・中国）

【申請件数等の実績】

	H26年度	H27年度	H28年度
件数	102件	104件	102件
宿泊者数（延べ）	22,086人	22,843人	25,215人
交付額	20,302千円	20,283千円	22,269千円

4 観光客受入環境創出事業

(1) (公社)伊勢市観光協会との協働事業

(公社)伊勢市観光協会と協働で以下の事業を行った。

ア 春まつり

日本の桜100選にも選ばれる宮川堤の桜の満開時期にあわせ、桜のライトアップや駐車場対策、仮設トイレの設置等を実施した。

開催日：平成28年4月1日（金）～10日（日）

会場：宮川河畔

イ 観月茶会

季節ごとの伊勢の行事を観光客の方に堪能してもらう秋の行事を行った。

開催日：平成28年9月15日（木）

会場：外宮勾玉池奉納舞台

参加者数：500名

ウ 第12回日本観光交流・伊勢会議

国内の観光関係者が伊勢に集い、観光の意義と重要性を認識し、健全な観光の推進を図る行事を行った。

開催日：平成28年9月27日（火）

会場：内宮・おはらい町

参加者数：36名

エ 越年行事

冬至祭の実施や全国から訪れる伊勢神宮年越し参り等のお客様へ振る舞い餅等のおもてなしを実施した。

開催日：平成 28 年 12 月中旬

会 場：外宮・内宮神域内

(2) 市内周遊促進事業

お伊勢さん菓子博 2017 の開催を契機として来訪された観光客等の市内周遊を促進し消費額の向上を図るため、以下の取り組みの準備を進めた。

ア 近鉄五十鈴川駅での臨時観光案内等の実施

菓子博開催期間中に拠点駅となる近鉄五十鈴川駅前広場において、(公社)伊勢市観光協会と協力して臨時観光案内所を設置することとなった。菓子博会場へ向かわれる方、会場から戻られた方への案内に加え、手軽に市内周遊していただけるよう、手荷物預かり・配送サービスも合わせて実施するための準備を行った。

イ 日本版DMOと連携した取り組み【債務負担行為】

観光情報発信事業で導入した電子クーポンシステムを活用するなどし、日本版DMO事業の本格的なスタートを切り、観光客の市内周遊を促進することを目的として、伊勢まちづくり(株)と協定を締結した。

○ 観光行事振興事業

1 第 64 回伊勢神宮奉納全国花火大会の開催

伊勢神宮奉納全国花火大会委員会へ参画し、事務局として準備等を行い開催した。

本大会は、北は秋田県から南は鹿児島県まで全国各地から選抜された花火師が参加する競技花火大会で、打上花火の部 44 組(注)、スターマインの部 10 組の 2 部門で競われ、競技大会ならではの格調、質ともに全国トップレベルの花火玉約 10,000 発が放揚された。

(注) 打上花火の部出場の 1 業者が出場辞退

オープニングスターマインは、歌手の「相川七瀬」氏が神宮に奉納された楽曲「僕らの E n d l e s s D r e a m」に合わせ、前年度スターマインの部準優勝者により放揚がされ、大会中盤には前年度スターマインの部優勝者による大会提供スターマインが放揚された。また、グランドフィナーレのワイドスターマインは、伊勢志摩サミット公認サポーターを務めた歌手の「平井堅」氏が制作されたサミット応援ソング「T I M E」に合わせて華やかに放揚された。

また、環境に配慮するための取り組みとして、今年度も 86 名のボランティアの協力により、ごみの持ち帰り及び分別ナビゲート活動を行った。

開催日：平成 28 年 7 月 16 日(土)

会 場：宮川河川敷

観覧数：約 230,000 人

ア 工事関係 (伊勢神宮奉納全国花火大会委員会発注)

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
中島2丁目 地内ほか	(注) 第64回伊勢神宮奉 納全国花火大会電 気工事	電灯設備 一式 仮設工事 一式	円 3,672,000	28. 5.13	28. 8. 5
〃	(注) 第64回伊勢神宮奉 納全国花火大会施 設工事	準備工 一式 放揚施設工 一式 棧敷工 一式 会場周辺安全施設工 一式 場内施設工 一式 付帯工 一式	28,263,600	28. 5.16	28. 8. 5
辻久留2丁目 地内	辻久留地内門扉設 置工事	メッシュフェンス 門扉設置 一式	99,900	28. 6.15	28. 6.20
計	3件	—	32,035,500	—	—

(注) 農林水産課施行

2 野口みずき杯 伊勢志摩国立公園指定70周年記念 2016中日三重お伊勢さんマラソンの開催
昨年度大会から引き続き、三重県営サンアリーナ発着としたコースにて実施した。伊勢市出身
でアテネ五輪女子マラソン金メダリストの「野口みずき」氏を大会長に迎え、大会名に冠をつけ
た。

また、障がいのある方も参加できるようバリアフリーランを新たに設置した。

1日目にウォークの部、バリアフリーラン、2日目にランニングの部（一般の部、公認の部）
として、ハーフマラソン・10km（公認の部のみ）・5km・3km（公認の部のみ）の4種目
を開催した。参加申込者数は全部門あわせて12,068人、当日参加者数は10,888人となった。

参加者への「おもてなし」として、12月3日（土）に伊勢夫婦岩ショッピングプラザにてウェ
ルカムパーティを開催したほか、大会期間中に会場内の物産展等で使用できる「お伊勢さんチケ
ット」を作成し、参加者に配布した。また、市内入浴施設の協力のもと参加者への入浴案内や市
内の太鼓団体の協力を得て沿道応援を実施した。

開催日：平成28年12月3日（土）、4日（日）

会 場：三重県営サンアリーナ周辺

ア 参加申込者数（詳細）

【一般の部】

単位：人

年代別	ランニング				ウォーク		バリアフリーラン		計
	5km		ハーフ		男	女	男	女	
	男	女	男	女					
10代未満	—	—	—	—	70	87	4	1	162
10代	7	2	19	2	78	89	13	11	221
20代	232	223	523	269	65	118	6	6	1,442
30代	310	234	895	370	89	156	4	2	2,060
40代	375	268	1,217	574	204	413	3	2	3,056
50代	232	228	962	327	186	572	0	2	2,509
60代	159	85	437	77	216	449	1	2	1,426
70代	65	18	69	5	140	232	0	1	530
80代以上	17	4	4	0	39	28	0	0	92
計	1,397	1,062	4,126	1,624	1,087	2,144	31	27	11,498
	2,459		5,750		3,231		58		
	8,209								

(注) ランニングの部の10代は大会当日18歳以上(高校生除く)の方

【公認の部】

単位：人

年代別	3km		5km		10km		ハーフ		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
中学生	—	149	210	—	—	—	—	—	359
高校生	—	—	—	26	60	—	—	—	86
一般	—	—	—	—	—	—	95	30	125
計	149		236		60		125		570

イ 都道府県別参加申込者数

【一般の部(ランニングの部、ウォークの部、バリアフリーランの合計)】

単位：人

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	5	埼玉県	44	長野県	24	奈良県	45	愛媛県	6
青森県	1	千葉県	46	静岡県	79	和歌山県	8	高知県	2
宮城県	1	東京都	131	愛知県	2,402	鳥取県	4	福岡県	16
秋田県	1	神奈川県	56	岐阜県	216	島根県	1	長崎県	1
山形県	1	新潟県	5	三重県	7,857	岡山県	10	熊本県	2

福島県	6	富山県	14	滋賀県	66	広島県	7		
茨城県	6	石川県	18	京都府	64	山口県	4		
栃木県	4	福井県	16	大阪府	226	徳島県	6	計	11,498
群馬県	1	山梨県	2	兵庫県	84	香川県	10	内伊勢市	2,986

- ・最高年齢者 男性：89歳、女性：90歳
- ・連続出場者 5回連続：664人、10回連続：105人、15回連続：28人、
20回連続：24人、25回連続：32人、30回連続：4人、35回連続：5人

○ 伝統的観光行事振興事業

1 伊勢のまつりブランド化推進事業

外宮周辺にて日本全国の有名な祭り19団体約600名による響演「祭のまつり」を10月15日(土)に開催し、14日(金)の三重県営サンアリーナにおける前夜祭とあわせて、多数の観客が訪れた。

開催日：平成28年10月14日(金)、15日(土)

観客数(延べ)：108,500人

○ 民俗伝統行事継承事業

(1) 民俗伝統行事継承事業負担金

伊勢御遷宮委員会が、国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」であり、また、市の「無形民俗文化財」として指定される「お木曳行事」、「お白石持行事」の保存継承及び神宮を核とした伊勢の情報発信を行うため、第63回神宮式年遷宮に向けた事業計画に基づき、事業を実施した。

ア 内宮ご鎮座二〇二〇年奉祝行事

開催日：平成28年9月25日(日)

内容：31団による奉祝木遣り

イ 次世代継承

内容：伊勢のお木曳車 車輪材の展示、過去の民俗行事の映像記録等整備、人材育成、市内リーフレットの作成・配布等

ウ 誘客PR

内容：参宮ガイドブック「JAPANISE」増刷・外宮前手渡し配布、ホームページの運営、初穂曳・神嘗奉祝祭等との連携した誘客PR等

(2) 初穂曳実施負担金

伊勢神宮奉仕会主催の初穂曳に参画した。

開催日：平成28年10月15日(土)、16日(日)

内容：外宮領陸曳、内宮領川曳

(3) 伊勢市民俗伝統行事継承基金積立金

伊勢市民俗伝統行事継承事業基金条例に基づき、「お木曳行事」「お白石持行事」の円滑な実施と保存継承等を目的に、伊勢商工会議所、(公社)伊勢市観光協会と共に基金の積み立てを行った。

観 光 誘 客 課

○ 旅客誘致受入宣伝事業

1 観光情報発信事業

(1) 誘客宣伝にかかる広告作成及び掲載事業

観光客の誘致を目的として、伊勢への観光をイメージさせる広告を作成し、首都圏、関西、九州などの主要な遠隔地で発行されている雑誌等の広告媒体への掲載を行った。

委 託 先：(株)アド近鉄伊勢支店

委託金額：9,990,000 円【債務負担行為】

委託期間：平成28年4月14日～平成29年3月17日

<掲載実績：委託分>

	媒体名	発行	地域
1	一個人	28. 6. 10	全国
2	神戸 Woman	28. 6. 10	神戸・阪神間
3	関西ファミリーウォーカー 夏号	28. 6. 13	関西
4	究極のカレー 関西版	28. 6. 16	関西
5	Poroco 7月号	28. 6. 20	札幌
6	womo 静岡版 7月号	28. 6. 23	静岡
7	womo 浜松版 7月号	28. 6. 23	浜松
8	Vian 7月号	28. 6. 24	群馬
9	tomato 広島版 7月号	28. 7. 1	広島
10	関西ウォーカー	28. 7. 5	関西
11	絶景日帰り温泉 東海版	28. 7. 14	東海
12	福岡ウォーカー	28. 7. 20	九州
13	あまから手帖 8月号	28. 7. 23	関西
14	西宮食本	28. 7. 28	兵庫・西宮
15	関西秋ウォーカー	28. 8. 9	関西
16	九州秋ウォーカー	28. 8. 9	九州
17	タウンジャーナル群馬版 9月号	28. 8. 21	群馬
18	CHEEK 10月号	28. 8. 23	東海
19	Poco'ce (ポコチェ) 9月号	28. 8. 25	東京
20	大人の食紀行 東海版	28. 8. 25	東海
21	関西ウォーカー	28. 9. 6	関西
22	シニア Navi 岡山 秋号	28. 9. 15	岡山
23	るるぶ FREE 福岡	28. 9. 15	福岡
24	関西冬ウォーカー	28. 10. 14	関西

	媒体名	発行	地域
31	J-COM マガジン 関西版	28. 12. 1	関西
32	関西ウォーカー	28. 12. 6	関西
33	ちょっと関西食の旅	28. 12. 8	関西
34	シニア Navi 岡山 冬号	28. 12. 15	岡山
35	Poroco 1月号	28. 12. 20	札幌
36	福岡ウォーカー	28. 12. 20	九州
37	Poco'ce (ポコチェ) 1月号	28. 12. 25	東京
38	関西ウォーカー	29. 1. 5	関西
39	春夏秋冬びあ 東海版	29. 1. 8	東海
40	春夏秋冬びあ 関西版	29. 1. 8	関西
41	HO 3月号	29. 1. 25	北海道
42	名駅物語 1/31号	29. 1. 25	名古屋市近隣
43	らーらパド東京版 2月号	29. 2. 1	東京
44	クラブナゴヤ	29. 2. 1	名古屋市近隣
45	宝塚食本	29. 2. 10	関西
46	東海春ウォーカー	29. 2. 13	東海
47	関西春ウォーカー	29. 2. 13	関西
48	伊勢志摩びあ	29. 2. 23	東海・関西・首都圏
49	九州春ウォーカー	29. 2. 25	九州
50	日和 3月号	29. 2. 28	長野
51	tomato 広島版 3月号	29. 3. 1	広島
52	Ami	29. 3. 3	名古屋
53	ドライブ日和	29. 3. 9	全国
54	関西ファミリーウォーカー 春号	29. 3. 15	関西

25	冬びあ 東海版	28.10.27	東海	55	CHIC 2017 年春号	29. 3.15	広島
26	冬びあ 関西版	28.10.27	関西	56	KURA 4月号	29. 3.20	長野
27	関西ファミリーウォーカー 冬号	28.11.15	関西	57	春びあ 中国・四国版	29. 3.20	中国・四国
28	womo 浜松版 12月号	28.11.24	浜松	58	春びあ 九州版	29. 3.20	九州
29	月刊 starcat 12月号	28.11.25	名古屋市近隣	59	KELLY 5月号	29. 3.23	名古屋
30	けーぶるちゃん。	28.12. 1	福井市近隣	60	あまから手帖 4月号	29. 3.23	関西

また、上記のほか、誘客に効果的な新聞や雑誌等の広告媒体を活用し、伊勢の観光情報の発信を行った。実施に当たっては、三重県や周辺組織・団体の取組と地域やターゲットが重複しないよう調整した。

<掲載実績：直接掲載分>

	媒体名	発行部数	掲載日(時期)	地域
1	旬刊旅行新聞	32,000部	28. 6.21	全国
2	聖教新聞	468,000	28. 7.10	東海
3	奈良新聞	112,700	28. 7.11	奈良
4	信濃毎日新聞	478,443	28. 7.22	長野
5	伊勢新聞	100,680	28.11. 6	東京
6	中日新聞	310,000	28.11.19	三重
7	伊勢新聞	130,180	28.11.20	三重
8	わお！ロードマップ	80,000	28.11.24	全国
9	旬刊旅行新聞	32,000	28.12. 1	全国
10	ばるく伊勢志摩	80,000	28.12.20	三重ほか
11	信濃毎日新聞	956,886	29. 1. 1 29. 1. 3	長野
12	お伊勢さん125社めぐり	5,000	29. 2. 1	三重ほか
13	旅行読売	190,000	29. 2. 2	全国
14	中日新聞	2,450,991	29. 2.23	東海

(2) 公共交通機関タイアップ誘客キャンペーンの推進

伊勢市への観光客の来客数第3位の地域である関東を中心に、第1位の東海からの誘導も含め、訪れる観光客のリピーター化を図るため、また、公共交通機関の利用を促進するため、公共交通機関とタイアップした誘客キャンペーンを実施した。

ア JR東海ポスターキャンペーン

東海旅客鉄道(株)とタイアップし、同社が広告掲出料を負担する代わりに、伊勢市が同社の情報枠を設けたポスター等を作成し、駅等に掲出した。

上期については、駅貼りポスターには宇治橋の写真を、パネルボード及び新幹線車内には神馬牽参(内宮)、表参道火除橋(外宮)の写真を使用し、伊勢の空気を感じてもらえる内容とした。

下期については、伊勢志摩サミットのレガシーを最大限活用するため、御正宮階段下にG7首脳が揃った写真を活用したポスター展開を行った。

関東主要駅である東京駅・品川駅では、ポスターやデジタルサイネージなどを効果的に掲出した。ポスター等は、最も長く貼れる場所では、上期は平成28年4月22日から平成28年9月29日まで、下期は平成28年9月30日から平成29年3月末まで掲出した。

委託先：(株)ジェイアール東海エージェンシー

委託金額：（上期）9,963,432円【債務負担行為】

（下期）7,101,497円

委託期間：（上期）平成28年3月30日～平成28年7月29日

（下期）平成28年8月18日～平成28年12月28日

イ 「ひととき」への広告出稿及び抜き刷り冊子の作成

「ひととき」は、東海道・山陽新幹線のグリーン車内に置かれ、また、K I O S K、一部書店等で販売される発行部数8万部の雑誌である。

サミット開催時期に合わせて、伊勢志摩特集号として5月20日に発売された「ひととき」6月号に、伊勢市として4ページの記事広告を掲載した。伊勢志摩特集と記事広告で抜き刷り冊子を作成し、東京駅のイベントスペースで5月23日から29日まで行われたパネル展示イベント「新幹線で伊勢志摩へ」にて配布を行った。

委託先：（株）ウェッジ

委託金額：6,480,000円【債務負担行為】

委託期間：平成28年1月22日～平成28年6月30日

ウ 近鉄・名鉄ポスターキャンペーン

近畿日本鉄道（株）及び名古屋鉄道（株）とタイアップし、伊勢市と東海旅客鉄道（株）で作成したポスターデザインの情報枠を各鉄道会社の情報枠とし、各鉄道会社の負担で主要駅等に掲出した。

上期においては、近畿日本鉄道（株）は6月から、最も長く貼れる場所では7月末まで掲出し、名古屋鉄道（株）は6月の1か月間掲出した。下期においては、近畿日本鉄道（株）は10月から、最も長く貼れる場所では12月末まで掲出し、名古屋鉄道（株）は10月下旬から1か月間掲出した。

委託先：（株）アド近鉄伊勢支店

委託金額：（上期）702,000円

（下期）669,600円

委託期間：（上期）平成28年5月18日～平成28年8月31日

（下期）平成28年9月28日～平成29年1月31日

エ 東武ポスターキャンペーン

東武鉄道（株）とタイアップし、上期は平成28年5月16日から6月5日まで、下期は平成28年10月17日から11月6日まで、伊勢市と東海旅客鉄道（株）で作成したポスターの情報枠に、東武トップツアーズ（株）の伊勢への旅行商品を掲載したポスターを池袋駅に掲出し、伊勢の露出を図った。伊勢の旅行商品販売促進キャンペーンとして、東武トップツアーズ（株）店舗でのポスター掲出及び伊勢の動画の放映等の販売促進活動、東武トップツアーズ（株）のWebサイトからの誘導強化に取り組んだ。

委託先：東武トップツアーズ（株）

委託金額：（上期）2,174,040 円

（下期）2,138,400 円

委託期間：（上期）平成28年4月25日～平成28年7月29日

（下期）平成28年10月5日～平成28年12月9日

（3）デジタルメディアを活用した情報発信

首都圏等から伊勢への誘客を図るため、東京23区及びその周辺のタクシー車内、岐阜・兵庫・神奈川の路線バス車内に設置されたディスプレイにおいて、伊勢の観光情報の発信を行った。

また、観光客の利便性向上を図るため、伊勢市内を走るタクシーやバスの車内、また市内の観光施設などにディスプレイを設置し、イベント情報や観光情報などを放映した。

委託先：（株）ディプラス

委託金額：10,991,160 円【債務負担行為】

委託期間：平成28年3月10日～平成29年3月31日

（4）テレビ放送等を活用した情報発信

旅行者の伊勢に対する興味を喚起するため、テレビ放送等で伊勢の情報発信を行った。

ア 「博多どんたく港まつり」中継における伊勢の観光情報発信

重点取組遠隔地である九州へ伊勢の情報を効果的に発信し、誘客を図るため、RKB毎日放送（株）とタイアップし、博多どんたく港まつりでのテレビ中継において、伊勢のPRを北部九州へ放送した。

委託先：RKB毎日放送（株）

委託金額：1,620,000 円

委託期間：平成28年4月11日～平成28年5月31日

（放送日：平成28年5月3日）

イ テレビ放送における伊勢の観光情報発信

伊勢志摩サミット開催により注目を集めた後においても、伊勢の情報を効果的かつ継続的に発信し、伊勢の認知度向上と誘客を図るため、重点取組遠隔地である関東で放送されるテレビ朝日「じゅん散歩」において、伊勢の観光資源をPRした。

委託先：テレビ朝日映像（株）

委託金額：4,989,719 円【繰越明許】

委託期間：平成28年3月30日～平成28年9月30日

（放送日：平成28年7月25日～平成28年7月29日）

ウ ラジオ番組における伊勢の観光情報発信

「全国菓子大博覧会・三重」の開催を目前に控えた時期において、伊勢の情報を効果的かつ継続的に発信し、伊勢の認知度向上と誘客を図るため、三重エフエム放送のラジオ番組「モーニングGOGO to 伊勢」において、伊勢の観光資源をPRした。

委託先：三重エフエム放送（株）

委託金額：324,000円

委託期間：平成29年2月17日～平成29年3月31日

(放送日：平成29年3月4日、11日、18日、25日)

(5) 菓子博誘客Webプロモーション

平成29年度の誘客の核となるイベントの一つである「全国菓子大博覧会・三重」を活用して伊勢への誘客を図るため、平成29年2月6日から3月5日まで、特設Webサイト及びWeb広告により、「全国菓子大博覧会・三重」の情報を発信するとともに、伊勢・二見宿泊施設の予約へ誘導し、宿泊促進を図った。

委託先：楽天(株)

委託金額：1,836,000円

委託期間：平成29年1月4日～平成29年3月30日

(6) ホームページを活用した情報発信

(公社)伊勢市観光協会と共同運営するホームページで、観光情報の発信を行った。

年度	アクセス数 (携帯電話含む)	稼働日数	一日平均
24	1,214,201	365日	3,326.6
25	2,271,186	365	6,222.4
26	1,963,634	365	5,379.8
27	1,730,562	366	4,728.3
28	1,382,767	365	3,788.4

(7) 観光パンフレットの利活用による情報発信並びに誘客活動

総合観光パンフレット、PRイベント等で伊勢の概要を紹介する概要版観光パンフレット、各種マップ類などを、目的別に(公社)伊勢市観光協会と共同作成した。

また、観光展等での配布のほか、観光案内所での配布、各種集大会による来訪者への配布、旅行会社等での配布、広告事業と連動した媒体等を通じたパンフレット送付依頼への対応など、用途に応じて効果的に配布した。

パンフレット送付については、電話・メール・FAX等で送付依頼があった場合に送付を行っている。平成28年度は雑誌等への広告掲載を約60件行い、広告面の一部にパンフレット無料送付の案内を掲載した。

年度	パンフレット送付件数
23	966件
24	1,988
25	1,171
26	830
27	1,780
28	1,218

(8) PRキャラバン

地域に出向き、伊勢の観光パンフレットの配布や物産展とのコラボレーションによる観光PRを行った。対象地域として、人口規模が大きく発信力のある首都圏、リピーターが期待される大阪・名古屋、重点取組遠隔地で注力をしている九州を中心に設定した。

同時に、地域の傾向及び伊勢の観光資源の認知度等を分析し、今後の観光施策の参考とするため、アンケートによる市場調査も実施した。

<PRキャラバン実施状況>

	実施内容（及び実施場所）	実施日	備考
1	みえ伊勢志摩フェア イオンレイクタウン（埼玉県越谷市）	28. 4. 8～28. 4. 10	三重県、志摩市、松阪市、伊勢市共同出展
2	博多どんたく港まつり（福岡県福岡市）	28. 5. 3～28. 5. 4	伊勢市主催
3	みえ伊勢志摩フェア イオンモール岡山（岡山県岡山市）	28. 5. 21～28. 5. 22	三重県、志摩市、伊勢市共同出展
4	三重テラスイベント “みえ旅”大商談会（東京都中央区）	28. 5. 22	三重県主催
5	関空旅博2016（大阪府泉佐野市）	28. 6. 4～28. 6. 5	鳥羽市、志摩市、南伊勢町、玉城町、松阪市、伊勢市共同出展
6	わっしょい百万夏まつり（福岡県北九州市）	28. 8. 6～28. 8. 7	伊勢市主催
7	みえ食旅パスポート プロモーションイベント（愛知県名古屋市）	28. 8. 11	三重県、鳥羽市、志摩市、南伊勢町、東紀州地域振興公社、伊勢市共同出展
8	ツーリズムEXPOジャパン2016（東京都江東区）	28. 9. 23～28. 9. 25	三重県、志摩市、鳥羽市、伊勢志摩国立公園協会、（株）コイサンズ、近畿日本鉄道（株）、伊勢市共同出展
9	JR東海協働イベント もう一度伊勢志摩サミット（東京都港区）	28. 10. 8～28. 10. 9	東海旅客鉄道（株）主催
10	お伊勢さんうまいもんフェア 東急日吉百貨店（神奈川県横浜市）	28. 10. 21～28. 10. 23	（公社）伊勢市観光協会主催
11	たまプラーザテラス 伊勢観光PRイベント（神奈川県横浜市）	28. 11. 5～28. 11. 6	（公社）伊勢市観光協会主催
12	伊勢・鳥羽・志摩・南伊勢 うまいもん列車（大阪市天王寺区）	28. 12. 10～28. 12. 11	鳥羽市、志摩市、南伊勢町、近畿日本鉄道（株）、伊勢市共同出展
13	お伊勢さん菓子まつり（愛知県名古屋市）	29. 2. 18～29. 2. 19	伊勢市（商工労政課）主催
14	全国銘菓コレクションと連携した菓子博・みえ食旅パスポートPR イオンモール東浦（愛知県知多郡東浦町）	29. 2. 19	三重県、志摩市、伊勢市共同出展
15	みなとみらい 伊勢観光PRイベント（神奈川県横浜市）	29. 3. 10～29. 3. 11	（公社）伊勢市観光協会主催
16	東京大神宮 伊勢観光PRイベント（東京都千代田区）	29. 3. 11～29. 3. 12	（公社）伊勢市観光協会主催

(9) フェイスブックページ運用事業

平成24年7月20日から開始した伊勢市の観光情報を発信するフェイスブックページにおいて、伊勢の観光情報やイベント情報などを発信した。「いいね」数は約2,400件となった。

発信者と受け手との双方向のやりとりが可能なSNSでの取組として、気軽に読めてわかりやすい発信を行った。

(10) PRキャラクターを活用した誘客活動

伊勢市の観光PRキャラクターである「はなてらすちゃん」を活用した誘客推進活動として、イラストやロゴを様々な印刷物や商品等に利用できるよう、キャラクター使用の申請を受け付け、許可した。また、着ぐるみを伊勢市が主催するイベント等にて使用するとともに、民間団体等が主催するイベントへの貸し出しを行った。

イラスト・ロゴ使用許可件数：18件

着ぐるみ貸出件数：63件

また、(公社)伊勢市観光協会協働事業として、はなてらすちゃんと伊勢まいりんくんのLINEスタンプの作成に取り組んだ。

(11) バス車体広告

伊勢への誘客を図るため、遷宮後も引き続きリピーターの確保が期待できる近隣府県の路線バス等に広告を掲載した。

<広告掲載実績>

都道府県	バス会社	主な運行エリア	掲載台数	掲出期間
京都府	京都市交通局	京都市内	3台	12か月
滋賀県	近江鉄道バス	大津市内ほか	3	12
岡山県	岡山電気軌道	岡山市内	1	12
長野県	長野電鉄バス	長野市内	4	12
兵庫県	神姫バス	神戸市内	8	12
岐阜県	岐阜バス	岐阜市内	10	12
静岡県	静鉄バス	静岡市内、清水市内	1	12
	遠鉄バス	浜松市内	8	12
愛知県	名古屋市営バス	名古屋市内	9	12
大阪府	大阪市営バス	大阪市内	3	12
	近鉄バス	大阪市内ほか	2	12

委託先：三重交通(株)

委託金額：5,935,032円【債務負担行為】

委託期間：平成28年2月4日～平成29年3月31日

(12) 「常若婚」にかかる事業

日本航空(株)及び三重県と連携し、常若の精神をパートナーとの絆を深めていただく旅行商品「常若婚」を造成し、商標登録及びPR動画の作成を行った。

ア 「常若婚」商標登録

「常若婚」というフレーズを伊勢市の誘客宣伝等での事業に広く活用していくため、商標登

録を行った。

委 託 先：あいわ特許業務法人

委託金額：178,600 円

委託期間：平成28年4月14日～平成29年3月31日

(商標登録日：平成29年1月27日)

イ 「常若婚」ロゴ商標登録

「常若婚」のロゴを伊勢市の誘客宣伝等での事業に広く活用していくため、商標登録業務の委託契約を行った。業務の完了に日数を要することとなったため、契約期間の延長を行った。

委 託 先：あいわ特許業務法人

委託金額：200,200 円【繰越明許】

当初委託期間：平成29年1月20日～平成29年3月31日

変更後委託期間：平成29年1月20日～平成30年3月30日

ウ 常若婚PR動画作成

常若婚を国内だけでなく国外へもPRし、伊勢の地に伝わる精神性の発信と伊勢への誘客を図るため、常若婚のコンセプトを紹介する動画を作成した。一部業務の完了に日数を要することとなったため、契約期間の延長を行った。

委 託 先：(株) JALブランドコミュニケーション

委託金額：5,821,200 円【一部繰越明許】

当初委託期間：平成29年1月17日～平成29年3月31日

変更後委託期間：平成29年1月17日～平成29年6月30日

2 スポーツ誘客推進事業

伊勢フットボールヴィレッジを活用した誘客大会の実施等による利用者の確保及び施設の戦略的な情報発信を行った。

委 託 先：(株) ジャパン・スポーツ・プロモーション

委託金額：2,160,000 円

委託期間：平成28年6月23日～平成29年3月31日

<大会等開催実績>

日 程	カテゴリー	参加チーム数	宿 泊 数	備 考
28. 4. 1～28. 4. 3	女子ユース	16 チーム	648 人	共催大会
28. 8. 6～28. 8. 8	男子ユース	1	102	単独合宿誘致
28.10. 8～28.10.10	ジュニア	40	101	
29. 1.21～29. 1.22	ジュニア	1	50	単独合宿誘致
29. 2.11～29. 2.12	ジュニアユース	8	147	
29. 3.14～29. 3.15	大学生	3	42	共催大会
29. 3.21～29. 3.23	男子ユース	16	651	
計	—	85	1,741	

大会等開催に加え、PR用のチラシやパンフレット等を作成し、サッカー指導者や団体代表者に

面談によるPRを行った。

3 広域連携事業

伊勢熊野観光連絡協議会、(公社)三重県観光連盟、(一財)伊勢志摩国立公園協会 伊勢志摩国立公園指定70周年事業実行委員会、伊勢鳥羽志摩観光連絡協議会、(公社)日本観光振興協会、歴史街道推進協議会、風景街道「伊勢街道」連絡協議会、NPO法人全国街道交流会議及び三重の観光営業拠点運営協議会等に参画し、事業展開を図った。

なお、伊勢志摩国立公園指定70周年事業においては、伊勢志摩地域が一体となって様々なイベントを開催し、11月には記念式典及び「全国エコツーリズム大会 in 伊勢志摩」を開催した。

4 ターゲティング戦略推進事業

伊勢への来訪客の増加を図るため、伊勢の着地型旅行商品の磨き上げ及び販売促進活動、コンビニ端末で購入できる着地型旅行商品の周知拡大を行ったほか、関東、関西、東海を中心に、北海道、中国・四国、九州など全国の旅行会社への企画提案と流通促進を行った。

委託先：(株)観光販売システムズ

委託金額：3,780,000円【債務負担行為】

委託期間：平成28年4月1日～平成29年3月24日

5 伊勢志摩広域観光活性化事業

(1) (公社)伊勢志摩観光コンベンション機構への参画

伊勢志摩地域への誘客のため、(公社)伊勢志摩観光コンベンション機構(平成6年3月設立、平成14年11月名称変更、平成18年4月社団法人化、平成24年4月公益社団法人化)に参画し、伊勢志摩への集大会・会議・展示会・イベント等のコンベンション誘致、伊勢志摩地域の情報発信に向けた観光事業及びフィルムコミッション事業等を展開した。

(2) 伊勢志摩キャンペーン事業

平成17年度から実施してきた「伊勢志摩キャンペーン」(平成25年度のみ「せんぐう旅博」として拡大実施)を、平成28年度も継続して実施した。

平成28年10月1日から平成29年3月31日まで、三重県、伊勢志摩地域各団体及び近畿日本鉄道(株)等と協働で、東京・大阪・名古屋を重点対象地域に設定し、キャンペーンを展開した。コンセプトブック、チラシ及びポスター等の誘客ツールを作成し、近鉄沿線や旅行会社等へ配布したほか、各種媒体での情報発信や旅行会社とのタイアップによる誘客活動を行った。

(3) 伊勢志摩学生団体誘致事業

伊勢志摩地域の行政、民間施設等と共同で学生団体旅行の誘致活動を行った。

学生団体旅行ガイドブック「伊勢志摩においさないさぁ」サミット特集版の作成、スマートフォンでの閲覧が主流になっていることを踏まえたホームページの改修、教育旅行エージェントへのセールス、学校訪問及び誘致セミナー、現地視察招聘及び関係機関との情報交換などを実施した。

平成28年度は、7月に首都圏(世田谷区、川崎市)の公立中学校訪問セールスを行い、2月には関西(長岡京市、南丹市、甲賀市、日野町、尼崎市)の公立小学校訪問セールスを実施した。

6 外国人観光客誘致推進事業

経済成長力と来日規模から注目される中国・アジアとともに、ヨーロッパ諸国などからの誘客も視野に入れ、他地域と連携しつつ、市単独でも誘客に取り組んだ。

(1) 他地域連携事業

ア 協議会事業

東海地区外国人観光客誘致促進協議会、三重県外国人観光客誘致促進協議会、伊勢志摩鳥羽インバウンド協議会及びJNTO（日本政府観光局）等へ参画し、海外に向けた三重県や伊勢志摩地域のPR、海外メディア等の取材対応、海外の旅行者に向けた招聘旅行（ファムトリップ）等を実施した。

また、伊勢志摩鳥羽インバウンド協議会では、観光庁の実施する訪日旅行促進事業「ビジット・ジャパン事業」に参画し、台湾・香港・韓国等からの誘客にかかる旅行商品の造成やプロモーション動画の作成等を協働で実施した。

JNTOについては、後述する伊勢志摩サミット推進事業の在英国日本大使館伊勢市PR事業における集客への協力を得るとともに、世界各拠点でのパンフレット設置を依頼した。

イ 台湾PR事業

昇龍道プロジェクト推進協議会が出展するブースを活用する形で、台北国際旅行博（ITF 2016）へ（公社）伊勢市観光協会とともに参画し、伊勢市のPRを行うとともに、今後の誘客につなげるための打合せを行った。

(2) 市単独事業

ア 伊勢英語書籍等ロンドンPR事業

伊勢志摩サミットの開催という好機を捉え、ロンドン市内のイベント施設（スウェーデンボルグハウス）において、伊勢の文化に関心のある人々を対象に、伊勢に関する英語書籍等を活用した観光PRイベントを4月20日に実施した。

後述する伊勢志摩サミット推進事業の在英国日本大使館伊勢市PR事業と同時開催した。

委託先：United Brain Networks Ltd

委託金額：2,992,338円【債務負担行為】

委託期間：平成28年3月10日～平成28年5月20日

イ ジャパン・ハウスにおける伊勢の情報発信に向けた取組

外務省がロンドン、ロサンゼルス及びサンパウロに開設する予定のジャパン・ハウスと連携した伊勢の情報発信を模索するため、特にロンドンとロサンゼルス両拠点の運営受託会社及び外務省と調整を行った。

ウ サウスカリフォルニア大学伊勢PR事業調査

外務省が日本文化を発信する拠点としてアメリカ合衆国ロサンゼルス市内に設立する予定の「ジャパン・ハウス ロサンゼルス」と連携した伊勢の情報発信に向けたステップとして、ロサンゼルス市のサウスカリフォルニア大学において、映画上映や講演会等を通じて伊勢の情報

を発信するイベント「The Study of Ise」を平成29年4月に実施するにあたり、必要な準備と打ち合わせを兼ねた事前現地調査を行った。

委託先：一般社団法人元気ジャパン

委託金額：993,333円

委託期間：平成29年2月22日～平成29年3月31日

エ 伊勢市動画広告Web配信事業

伊勢志摩サミットで世界的に「伊勢志摩」という言葉が報道される好機を捉え、世界における「伊勢」の知名度向上と興味喚起を図るため、イギリスにターゲットを絞って動画広告のWeb配信を行うとともに、その視聴者の性別・年齢などを調査し、伊勢の特徴である歴史・文化に興味のある属性の分析を行った。

広告配信期間：平成28年5月20日～平成28年6月30日

期間中動画閲覧数：1,743,578PV

委託先：(株)アド近鉄伊勢支店

委託金額：15,000,000円【債務負担行為】

委託期間：平成28年4月25日～平成28年7月29日

オ 外国旅行会社情報発信事業

外国の旅行会社が閲覧するホームページに伊勢の情報を発信し、外国での伊勢の知名度を高め、旅行先の選択肢として採用されるための土壌づくりを行うため、「JAPAN TIMELINE」のWebサイトに伊勢市のページを作成し、6か国語で観光情報の配信を行った。

配信記事数：80記事

委託先：(株)フリープラス

委託金額：432,000円

委託期間：平成28年5月25日～平成29年2月28日

カ 東京長期滞在外国人観光客向けマップ作成事業

(公社)伊勢市観光協会と協働で、東京を起点として日本に長期滞在する個人旅行者(FIT)の外国人観光客をターゲットに、伊勢への旅行を誘導するマップの東京版を作成し、東京の観光案内所や宿泊施設に効果的に設置した。

キ 外客誘客調査事業

(公社)伊勢市観光協会と協働で、世界各地の日系人をターゲットとし、「自分のルーツ」、「日本人のこころのふるさと」を全面に押し出した情報発信を行うため、三重県に来訪者の多い北米を中心に情報収集を行っている。平成28年度はアメリカ合衆国ボストン市のイベントにおいて、パンフレット配布とアンケート調査を実施した。

ク 観光パンフレットの利活用による情報発信

(公社)伊勢市観光協会と協働で5か国6言語の外国語版のパンフレットを作成し、市内の観光案内所、世界のJNTO拠点等に設置した。

ケ 外国人短期留学生招聘及び情報発信事業

平成29年2月20日から3月9日までの3週間、皇學館大学と協働で、日本・伊勢の歴史文化に興味を持つ欧米圏の学生を対象に、皇學館大学の留学生として伊勢の地で伊勢について学ぶプログラムを実施した。参加留学生には、滞在中にSNSを活用し、毎日母国へ伊勢を発信していただいた。帰国後もSNS等を通じて情報発信に努めていただいた。

委託先：皇學館大学

委託金額：4,950,000円

委託期間：平成28年8月5日～平成29年3月28日

○ 伊勢志摩サミット推進事業

1 在英国日本大使館伊勢市PR事業

日本及び伊勢志摩が世界的に注目される好機である伊勢志摩サミットの開催直前の時期を捉え、現地調査及び皇學館大学、神社本庁、神宮司庁、観光庁、JNTO、外務省等関係機関との調整を経て、ロンドン市内の在英国日本国大使館において大使館関係者、現地の旅行関係者及びマスコミ関係者を対象に、講演会とレセプションから成る伊勢の観光PRイベントを4月18日に実施した。外国人観光客誘致推進事業の伊勢英語書籍等ロンドンPR事業と同時開催した。

委託先：(株)JTBコミュニケーションズ

委託金額：2,863,218円【繰越明許】

委託期間：平成28年3月10日～平成28年5月20日

○ 地方創生加速化交付金事業

1 TV番組による観光PR事業

伊勢志摩サミット開催により注目を集めた伊勢において、平成29年4月から5月に開催される「全国菓子大博覧会・三重」のPRを含めた伊勢の情報を効果的かつ継続的に発信し、伊勢の認知度向上と誘客を図るため、全国放送番組のテレビ朝日「帰れまサンデー」において、伊勢の観光PRを実施した。

委託先：(株)JTBコミュニケーションデザイン

委託金額：10,000,000円【繰越明許】

委託期間：平成29年1月4日～平成29年3月31日

(放送日：平成29年3月19日)

2 観光地魅力創造事業

伊勢志摩サミット開催後の誘客強化策として、若年層旅行者の誘客促進と滞在時間延伸及び消費額増加を図るため、若年層にとって魅力的な体験型コンテンツを造成し、クーポンを活用して体験及び宿泊を促進する「コト旅 in 伊勢」キャンペーンを実施した。キャンペーンのPRには、Web、雑誌媒体、イベント等を活用し、また、長距離バス会社やレンタカー会社、大手百貨店

とのコラボレーションも実施した。

作成体験型コンテンツ数：42 業者 164 プラン

販売数：341 件

宿泊数：7,733 件 17,136 人泊

バス利用数：176 組 213 名

委託先：(株) リクルートライフスタイル

委託金額：28,740,000 円【繰越明許】

委託期間：平成28年5月9日～平成29年2月28日

3 渋滞緩和啓発ポスター及びデジタルサイネージ作成

「全国菓子大博覧会・三重」の開催中における伊勢市内の渋滞緩和を図るため、公共交通機関利用促進のポスター及びデジタルサイネージを作成し、近鉄主要駅に掲出した。

ポスターは、近鉄主要駅に計 900 枚を掲出し、デジタルサイネージは、大阪難波駅で平成 29 年 2 月 27 日から 3 月 26 日まで放映した。

委託先：(株) アド近鉄伊勢支店

委託金額：2,970,000 円【繰越明許】

委託期間：平成29年1月17日～平成29年3月31日

国 体 推 進 課

○ 平成 30 年度全国高等学校総合体育大会開催事業

平成30年（2018）に三重県を主会場とした東海ブロック及び和歌山県で開催される「全国高等学校総合体育大会」（以下「高校総体」）の総合開会式や競技を伊勢市で開催するための準備として、同規模の大会視察や開催先進市、平成28年度開催市町を視察した。

1 先催県等視察の概要

日 程	種 別	視 察 先	視 察 内 容	人 数	同 行 者
28. 6. 18（土） ～28. 6. 19（日）	高校総体	岐阜市	大会運営等現地視察 （陸上競技）	名 2	（一財）三重陸上 競技協会
28. 7. 29（金） ～28. 7. 31（日）	高校総体	呉市、広島市 宇部市、岡山市	大会運営等現地視察 （バレーボール男子・サッカー 男子・陸上競技）	3	
28. 8. 1（月） ～28. 8. 3（水）	高校総体	岡山市	大会運営等現地視察 （陸上競技・剣道）	2	
28. 8. 4（木）	高校総体	㈱アシックス （神戸市）	大会への協力支援依頼等 （株式会社アシックス）	1	
29. 2. 13（月） ～29. 2. 15（水）	高校総体	仙台市、山形市 天童市	事務体制や予算等の行政視察 企業協賛説明会	4	

2 伊勢市での開催競技と近年の開催状況（平成 30 年：高校総体）

開 催 競 技	会 場 名	日 程	備 考
総合開会式	三重県営サンアリーナ	30. 8. 1（水）	
バレーボール男子	三重県営サンアリーナ 三重交通G スポーツの杜 伊勢 体育館	30. 7. 26（木） ～30. 7. 30（月）	
陸上競技	三重交通G スポーツの杜 伊勢 陸上競技場	30. 8. 2（木） ～30. 8. 6（月）	
サッカー男子	伊勢フットボールヴィレッジ	30. 8. 7（火） ～30. 8. 9（木） （伊勢市での開催日程）	（注）4 市共催
剣道	三重県営サンアリーナ	30. 8. 9（木） ～30. 8. 12（日）	

（注）サッカー男子は、四日市市・鈴鹿市・伊賀市と共同開催。

【参考】近年の開催状況

年 度	26	27	28	29	30
ブロック	南関東	近畿	中国	南東北	東海
主会場県	東京都	和歌山県	岡山県	山形県	三重県

3 「平成30年度全国高等学校総合体育大会伊勢市実行委員会」の設立準備

伊勢市開催競技について、開催準備及び大会運営に万全を期すため、「平成30年度全国高等学校総合体育大会伊勢市実行委員会」の設立に向けた準備を行った。

○ 国民体育大会開催事業

平成33年（2021）に三重県で開催予定の「第76回国民体育大会（三重とこわか国体）」（以下「国体」）の総合開閉会式や競技を伊勢市で開催するための準備として、開催先進市や平成28年度開催市町を視察した。

また、国体の開催県で実施される「第21回全国障害者スポーツ大会（三重とこわか大会）」についても開催地を視察した。

1 先催県視察の概要

日 程	種 別	視 察 先	視 察 内 容	人 数	同 行 者
28. 8. 5（金）	国体	（注） 鹿児島市	事務体制や予算等の行政視察	名 2	
28. 9. 30（金） ～28. 10. 10（月）	国体	北上市、奥州市 花巻市、八幡平市 盛岡市、滝沢市	大会運営等現地視察 （開会式・陸上競技・バドミントン・卓球・相撲・サッカー女子・高校野球（硬式））	4	
28. 10. 21（金） ～28. 10. 24（月）	全国障害者 スポーツ大会	北上市、奥州市 一関市、花巻市 盛岡市	大会運営等現地視察 （開会式・陸上競技（身・知） ・卓球（身・知）・車いすバスケットボールほか）	4	NPO法人 伊勢志摩バリア フリーツアー センター
29. 2. 6（月） ～29. 2. 8（水）	国体	松山市、砥部町 宇和島市、西予市	事務体制や予算等の行政視察	4	

（注）平成29年度に当市で開催する「全国自治体サッカー選手権大会」の視察に併せて実施。

2 伊勢市での開催競技と近年の開催状況（平成33年：国体）

開 催 競 技	会 場 名	備 考
総合開会式	三重交通G スポーツの杜 伊勢 陸上競技場	
陸上競技	三重交通G スポーツの杜 伊勢 陸上競技場	
相撲	三重交通G スポーツの杜 伊勢 体育館	
バドミントン	三重県営サンアリーナ	
卓球	三重県営サンアリーナ	
サッカー女子	伊勢フットボールヴィレッジ	伊賀市と共催
高校野球（硬式）	ダイムスタジアム伊勢（伊勢市倉田山公園野球場）	津市と共催

【参考】近年の開催状況

年 度	27	28	29	30	31	32	33
開催県	和歌山県	岩手県	愛媛県	福井県	茨城県	鹿児島県	三重県

○ 国体推進課の設置関係

高校総体及び国体の事業推進に向けた事務体制を整備するため、平成29年4月1日から「国体推進課」を新たに設置することとなり、この事務体制の整備に伴う事務所の設置について、市役所本庁舎改修工事により公共施設への設置が困難であるため、民間施設も含め検討を重ねた結果、下記のとおり事務所を設置することとした。

(1) 事務所の概要

- ・所在地：伊勢市河崎1丁目4番35号 JA伊勢 伊勢支店 2階

(2) 事務所の契約内容

- ・契約期間：平成29年4月1日～平成31年3月31日（2か年）
- ・契約金額：年額3,888千円（税込）
債務負担行為額：年額3,888千円×2か年＝7,776千円（税込）
- ・契約先：三重県度会郡度会町大野木1858 伊勢農業協同組合

(3) 事務所の備品整備

事務所備品については、市役所本庁舎改修工事に伴う不要備品の有効活用のほか、伊勢二見鳥羽ラインの無料化による三重県道路公社伊勢出張所の閉鎖に伴う備品の無償譲与により整備し、新規備品については必要最小限の範囲内で購入し、整備を行った。